

秋田自動車道  
満屋橋他 1 橋はく落対策設計

参 考 図

令和 7 年 1 0 月

東日本高速道路株式会社 東北支社  
北 上 管 理 事 務 所

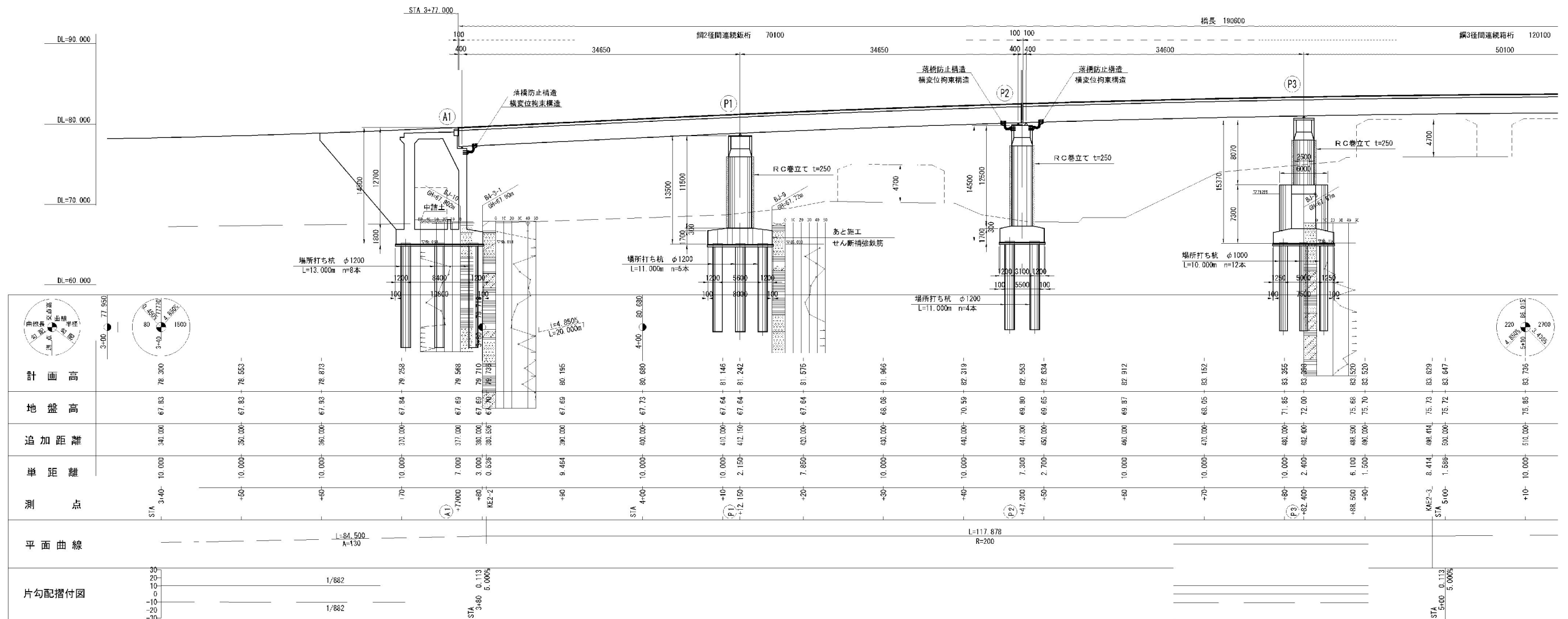
## 目次

1. 位置図	_____	1
2. 満屋橋	全体一般図(1)～(3) _____	2～4
3. 満屋橋	上部工構造一般図(1)(2) _____	5, 6
4. 満屋橋	下部工構造一般図(1)～(4) _____	7～10
5. 満屋橋	上部工検査路図 _____	11
6. 天下田橋	全体一般図 _____	12
7. 天下田橋	上部工構造一般図 _____	13
8. 天下田橋	下部工構造一般図(1)(2) _____	14, 15
9. 天下田橋	落下物防止柵F1(1)(2) _____	16, 17
10. 天下田橋	上部工検査路図(1)(2) _____	18, 19

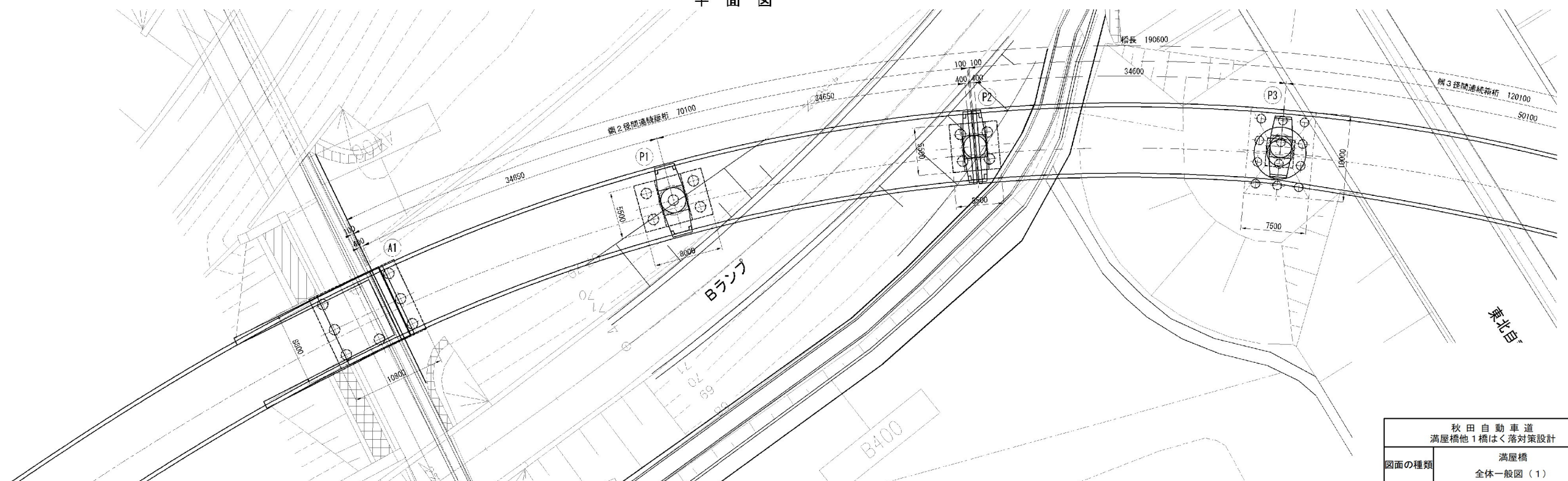
秋田自動車道 満屋橋橋1橋はく落対策設計			
図面の種類	位置図		
縮 尺	—	図面番号	/
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 北上管理事務所		



満屋橋 全体一般図 (1)

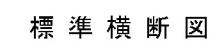


平面図

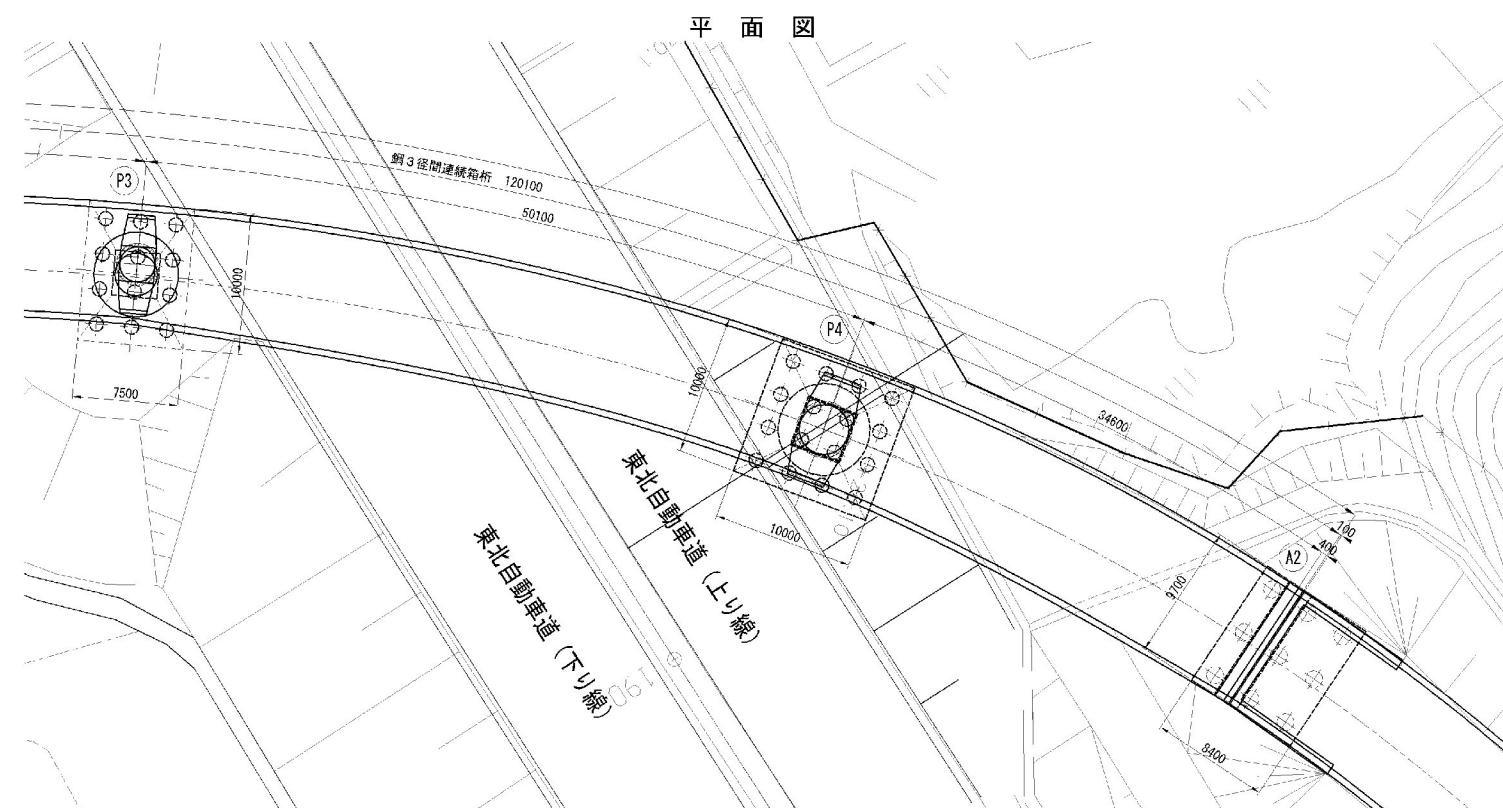
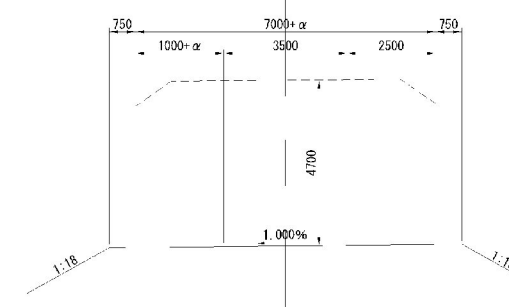
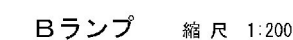
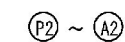


秋田自動車道 満屋橋他1橋はく落対策設計	
図面の種類	満屋橋 全体一般図(1)
縮尺	図面番号 /
事務所名	東日本高速道路株式会社 北上管理事務所



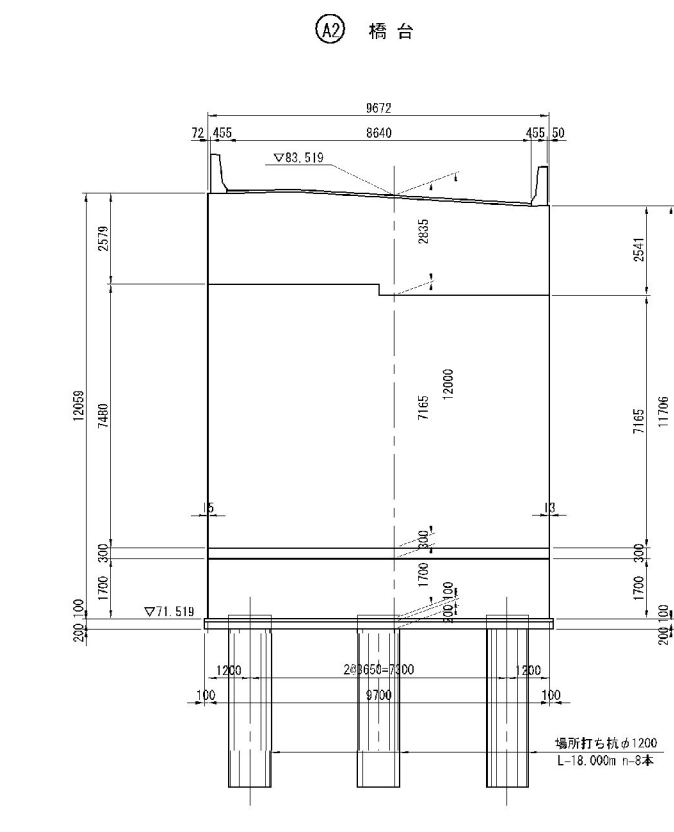
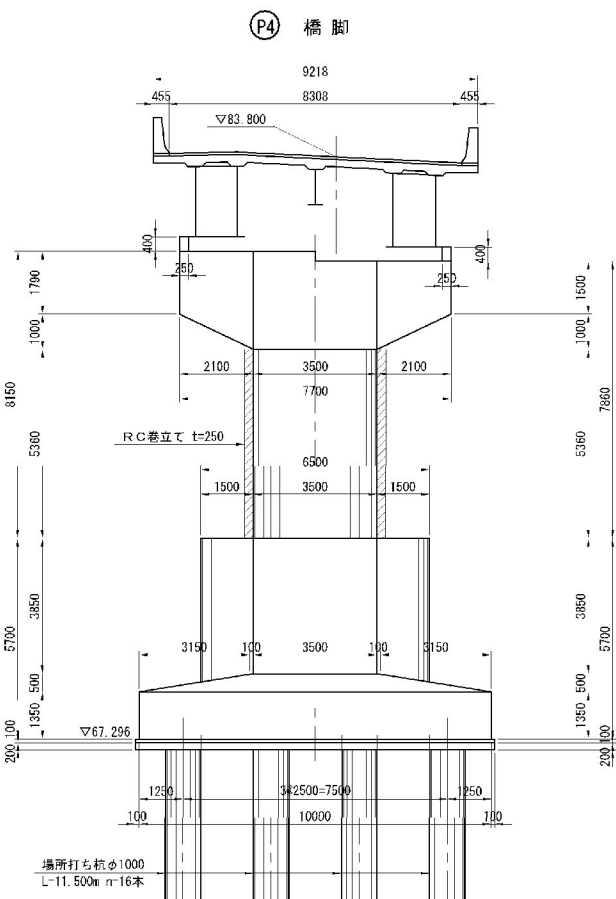
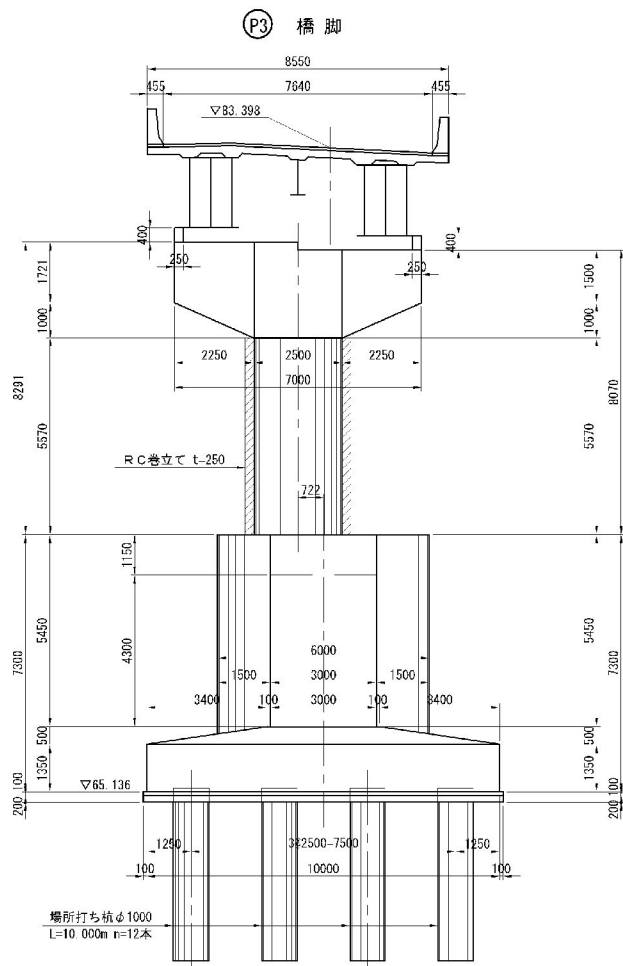
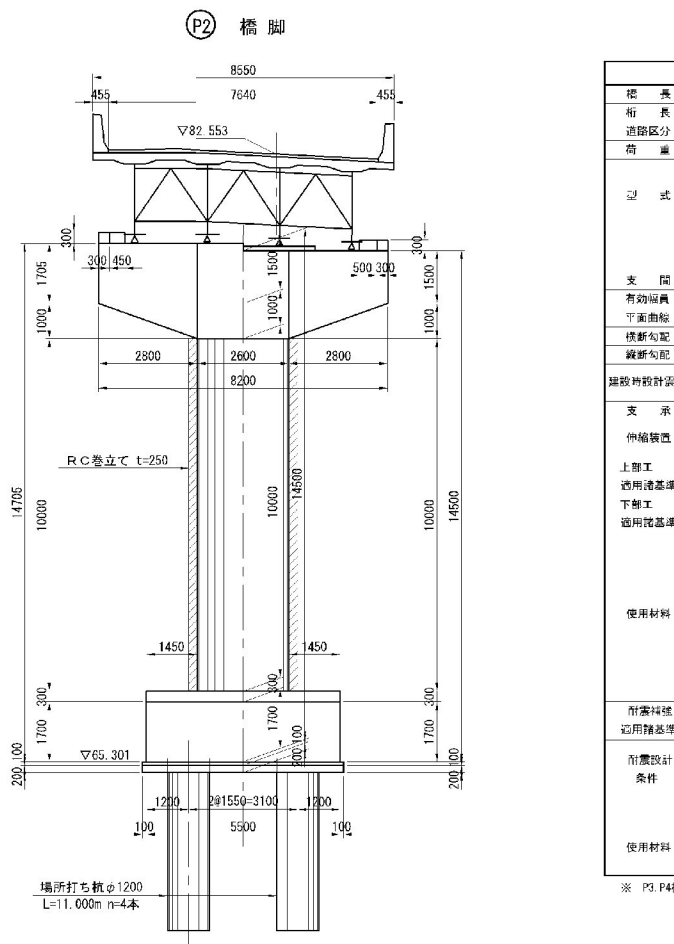
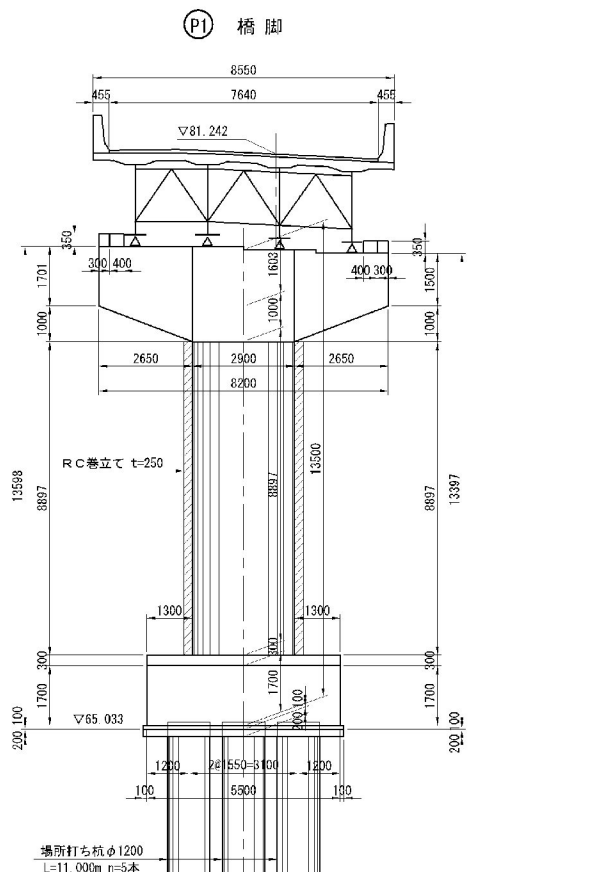
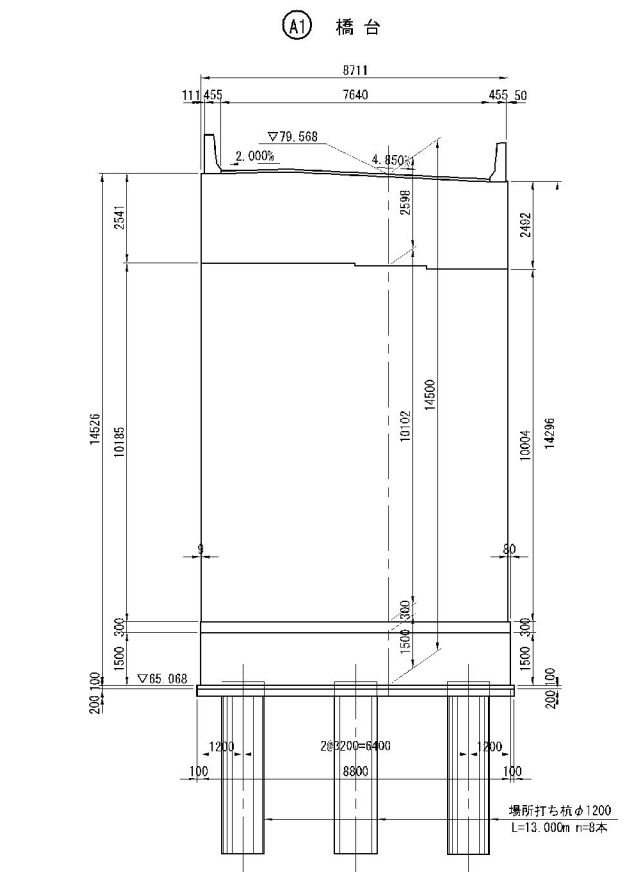


①A1 ~ ②P2



秋田自動車道 満屋橋他1橋は落対策設計			
図面の種類	満屋橋 全体一般図(2)		
縮尺	—	図面番号	/
事務所名	東日本高速道路㈱東北支社 北上管理事務所		

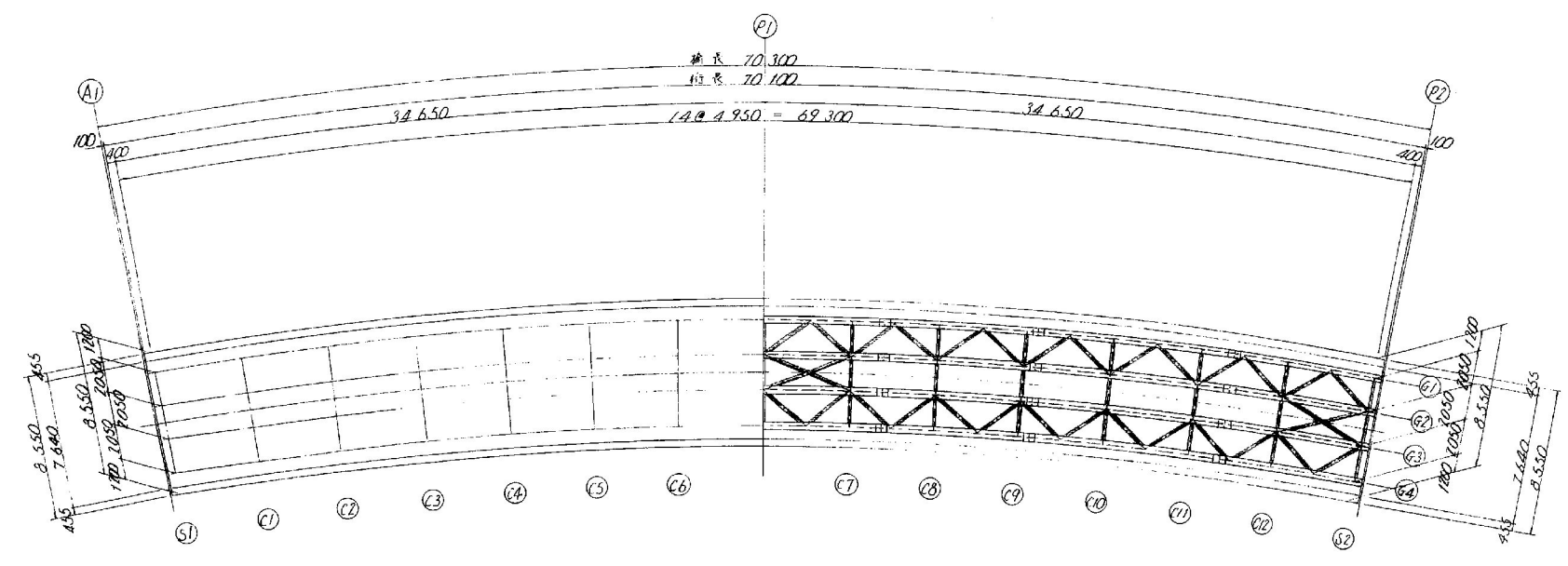
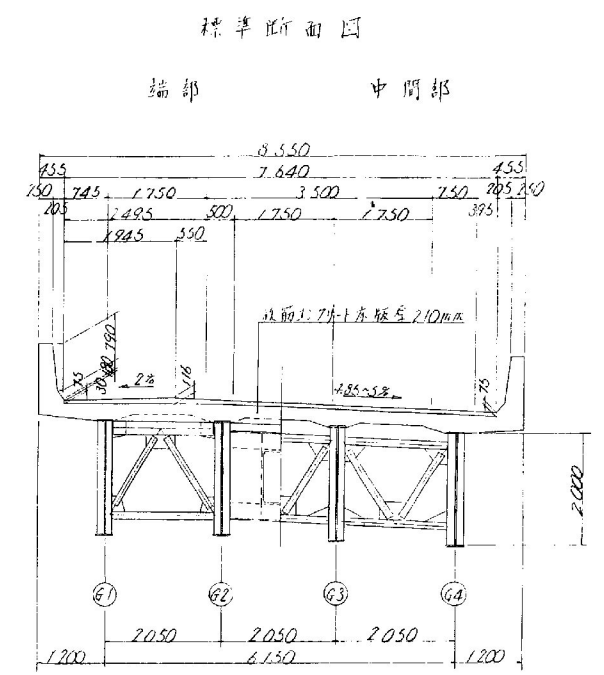
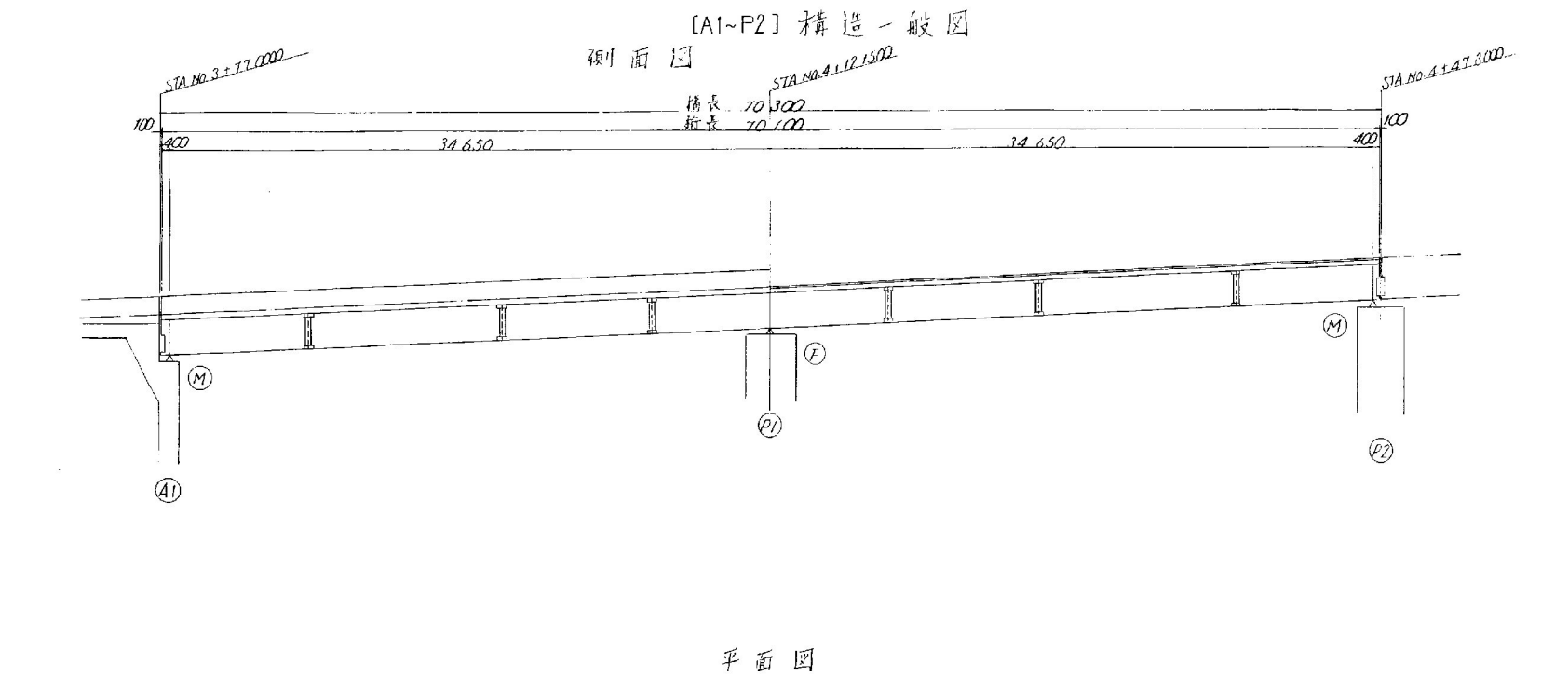
満屋橋 全体一般図（3）



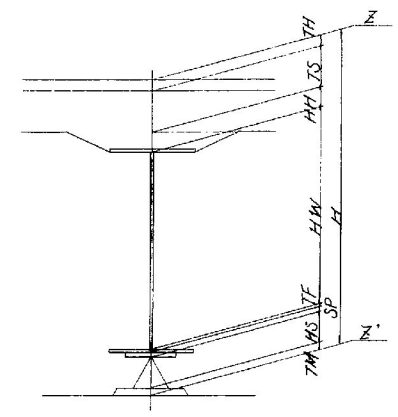
設計条件	
標高	190.600m (道路中心線上)
桁長	70.100m + 120.100m (道路中心線上)
造路区分	ジャンクション第2部A規格 設計速度 V 50km/h
荷重	IT 43, TL 20
型式	上部工 鋼2径間連続桁橋・鋼3径間連続桁橋 下部工 A1: ラーメン式橋台 P1~P4: 円柱式橋脚 A2: 逆T式橋台 基礎工 A1, P1, P2, A2: 杭基礎 (場所打ち杭 φ1200) P3, P4: 杭基礎 (場所打ち杭 φ1000)
支間	2径 34.650m + 34.600m + 50.100m + 34.600m (道路中心線上)
有効幅員	7.640m ~ 8.640m
平面曲線	斜角 90° 00' 00"
橋軸勾配	A 130 ~ R=200
縦断勾配	5.000% ~ 6.000%
縦断勾配	4.850% 3.430% V.C.L = 220m
基礎設計基準	地盤種別 II種地盤 設計水平震度 kh = 0.20 (S55基準)
支保	鋼製支保 橋脚 鋼製フィンガージョイント 伸縮装置 伸縮量 40.1mm (温度時)
上部工	平成24年2月 道路標示方書・同解説
適用設計基準	平成24年2月 設計要領第二集
下部工	昭和55年2月 道路標示方書・同解説
適用設計基準	昭和55年2月 設計要領第二集
使用材料	上部工 コンクリート σ <sub>ck</sub> = 240 kg/cm <sup>2</sup> 鉄筋 SD345 σ <sub>sa</sub> = 1400 kg/cm <sup>2</sup> 鋼材 S4400, S4490Y, F8T 下部工 コンクリート σ <sub>ck</sub> = 240 kg/cm <sup>2</sup> 鉄筋 SD30 (一次施工) σ <sub>sa</sub> = 1800 kg/cm <sup>2</sup> SD345 (二次施工) σ <sub>sa</sub> = 1800 kg/cm <sup>2</sup> 基礎工 (場所打ち杭) コンクリート σ <sub>ck</sub> = 240 kg/cm <sup>2</sup> 鉄筋 SD30 (一次施工) σ <sub>sa</sub> = 1800 kg/cm <sup>2</sup> SD345 (二次施工) σ <sub>sa</sub> = 1800 kg/cm <sup>2</sup>
市県標準	平成24年2月 道路標示方書・同解説
適用設計基準	平成24年2月 設計要領第二集 (橋梁保全編)
市県設計	橋の重要度区分 B種
条件	地盤別補正係数 A2地盤 (α=1.00, C I=1.00, C II=1.00) 【岩手県】 地盤母則 Ⅱ母則 (I母、II母混在)
設計水かさ	kh=0.25
使用材料	コンクリート σ <sub>ck</sub> 30 N/mm <sup>2</sup> 鉄筋 SD345 鋼材 S4450YA・S4400A (ブラケット)

※ P3、P4橋脚基礎のみ一次施工

# 満屋橋 上部工構造一般図 (1)



- 設計条件
- 型式 鋼2径間連続鈑桁橋
  - 橋格 一等橋 (TL-20.7T-43)
  - 橋長 70.300 m (道路中心線上)
  - 桁間長 70.100 m ( " )
  - 支間長 2 @ 34.650 m
  - 総幅員 8.550 m
  - 斜度 再 90°00'00"
  - 橋断面配 4.85% ~ 6.00%
  - 縦断面配 4.850% ~ 2.436%
  - 舗装 75mm ~ 116mm
  - 床版 鉄筋コンクリート床版 210mm
  - 設計速度 Km = 0.20
  - 主要鋼材 SS400 SM490Y F8T
  - 適用示方書 道路橋示方書同所説 (平成2年2月)  
設計要領第2巻 (平成2年7月)



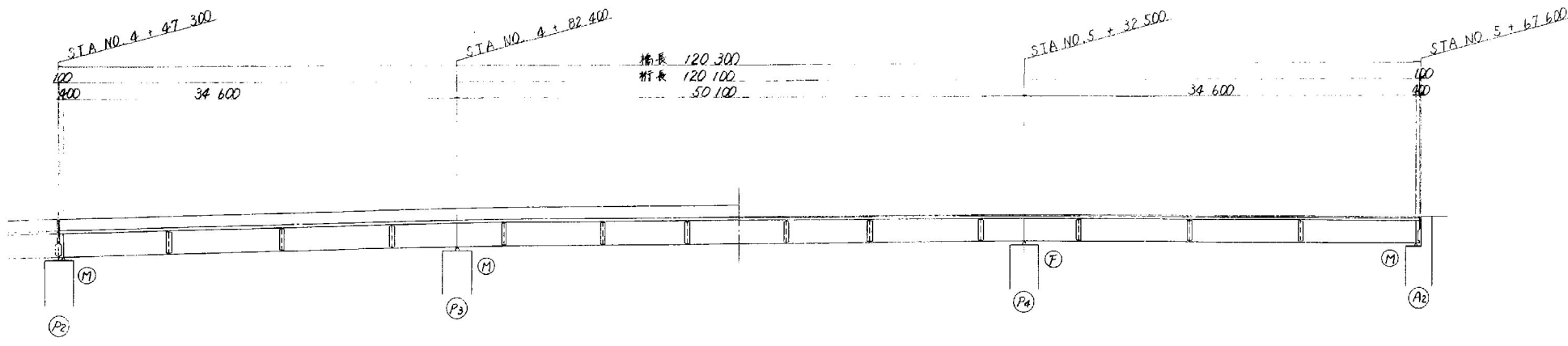
支 点 上 構 造 高																	
S1										P1				S2			
Z	G1	G2	G3	G4	G1	G2	G3	G4	G1	G2	G3	G4					
Z 路面計高	79.703	79.686	79.586	79.486	81.358	81.339	81.237	81.134	82.654	82.635	82.532	82.430					
TH 鋪蓋厚	91	75			91	75			91	75							
TS 床版厚	210																
HH ハンチ高	100																
HW 踵板厚	2000																
TF F7.5シ厚	14	14	12	12	30	30	28	25	14	14	12	12					
SP ソールプレート厚	33	32	32	31	31	31	31	32	29	29	29	29					
HS 炎承高	175	155	155	155	240	230	230	240	175	155							
TM F7.5シ厚	27	47	32	31	25	32	30	22	29	46	31	48					
H 合 計	2.650	2.633	2.616	2.614	2.727	2.708	2.704	2.704	2.648	2.629	2.612	2.622					
Z' 1階上地面高	77.053	77.053	76.970	76.872	78.631	78.631	78.533	78.430	80.006	80.006	79.920	79.801					



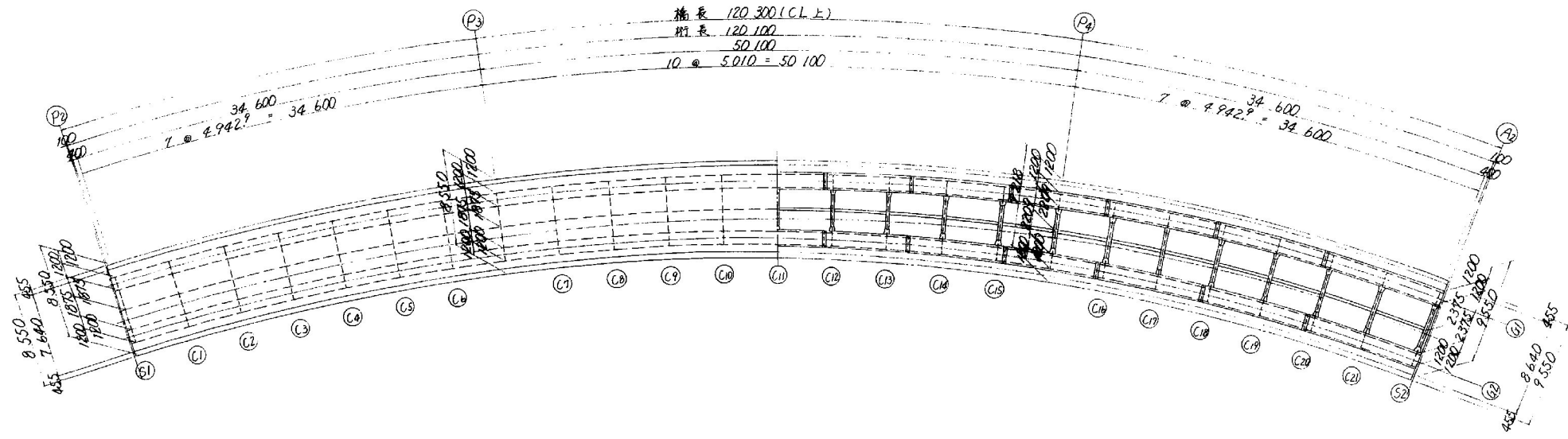
満屋橋 上部工構造一般図 (2)

[P2~A2] 構造一般図

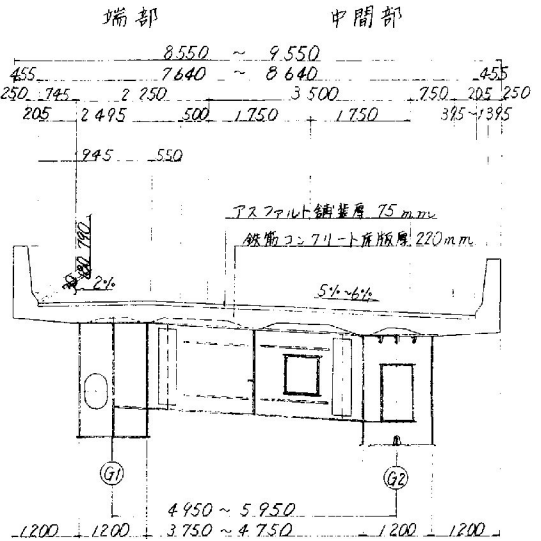
側面図



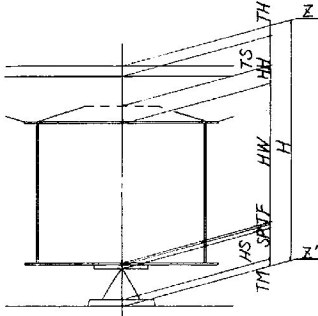
平面図



標準断面図



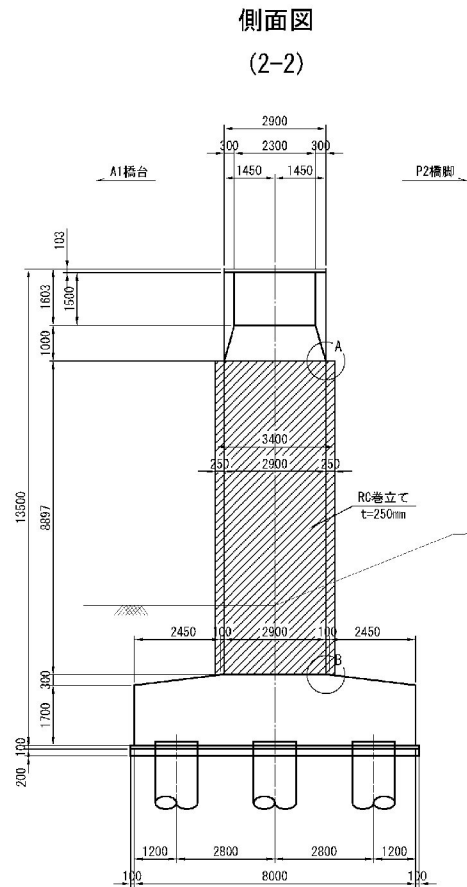
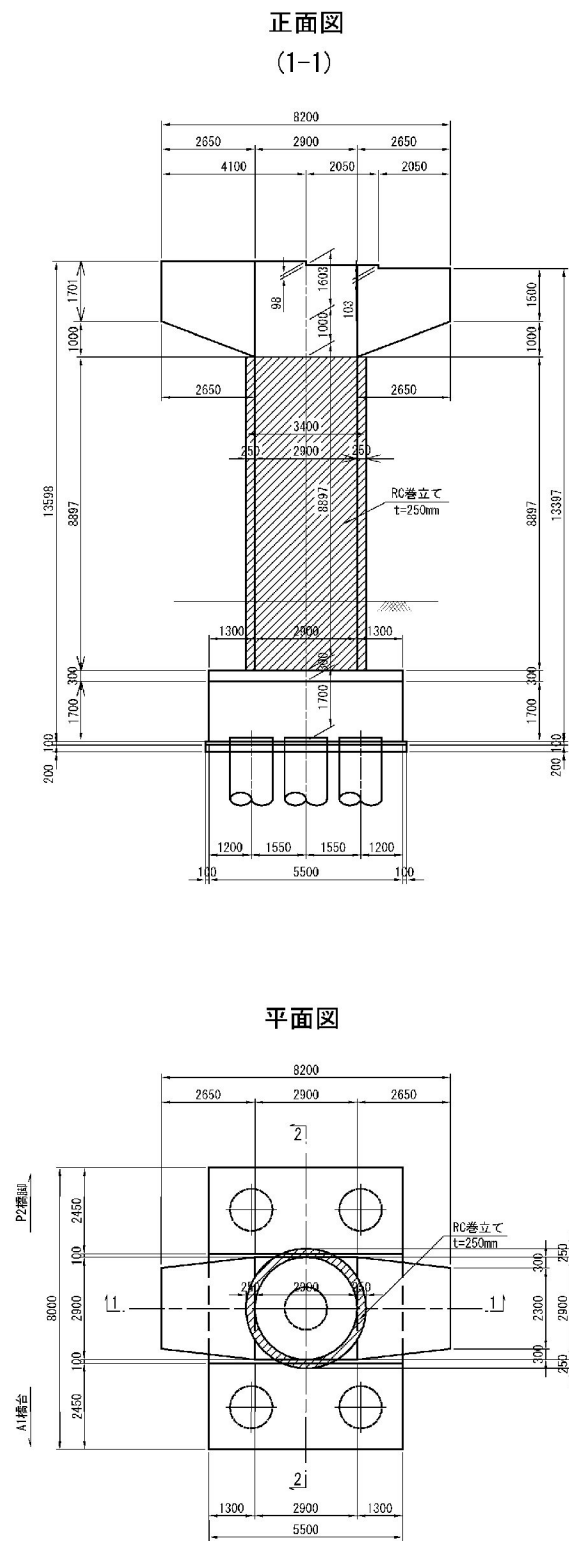
設計条件	
型式	鋼3径間連続箱桁橋
橋長	一跨橋 (TL-20.7T-43)
橋長	120.300m (道路中心線上)
桁長	120.100m ( )
支間長	34.600 + 50.100 + 34.600
総幅員	8.550 ~ 9.550m
斜角	90° 00' 00"
横断勾配	5.00% ~ 6.00%
縦断勾配	3.850% ~ 2.958% ~ 4.82%
鋼材	ASTM A572 鋼材 75mm
床版	鉄筋コンクリート床版厚 220mm
設計速度	Km = 0.20
主要鋼材	SS 400, SM 490Y, F.B.T.
適用示方書	道路橋示方書 同解説 (平成2年2月)
	設計要領 第2巻 (平成2年7月)



	点		上		構		造		高	
	G1	G2	G1	G2	G1	G2	G1	G2	G1	G2
Z 踏面計面高	82.696	82.491	83.526	83.320	83.946	83.675	83.682	83.373		
TH 鋼材厚	75									
TS 床版厚	220				220					
HH ハンチ高	112	130	112	130	112	134	112	136		
HW 腹板高	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000		
TF フラッシュ厚	10	10	23	19	24	21	10	10		
SP リンパシ厚	30	30	28	28	28	28	26	26		
HS 支床高	210	210	320	320	320	320	220	210		
TM 毛丸厚	33	15	21	22	21	21	20	12		
H 合 計	2.690	2.690	2.799	2.814	2.800	2.819	2.683	2.689		
Z' 下地土面高	80.006	79.801	80.727	80.506	81.146	80.856	80.999	80.684		

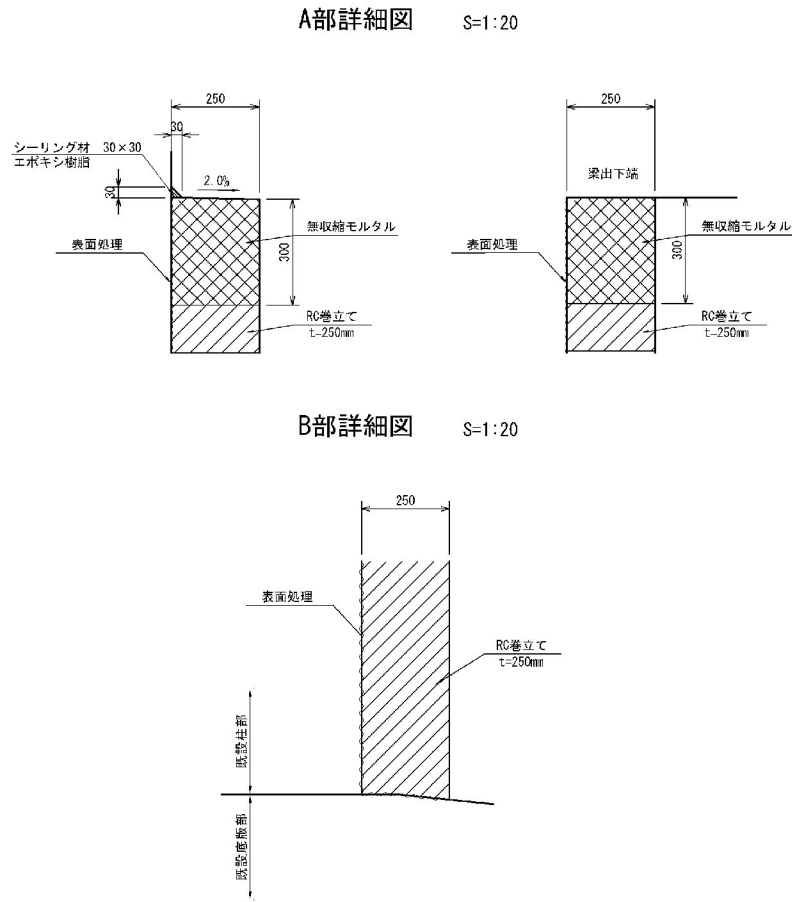
秋田自動車道 満屋橋他1橋はく落対策設計	
図面の種類	満屋橋 上部工構造一般図 (2)
縮 尺	図面番号 /
事務所名	東日本高速道路株式会社 北上管理事務所

満屋橋 P1橋脚構造一般図



使用材料

種 別	仕 様
コンクリート	$\sigma_{ck}=30\text{N}/\text{mm}^2$
鉄 筋	SD345

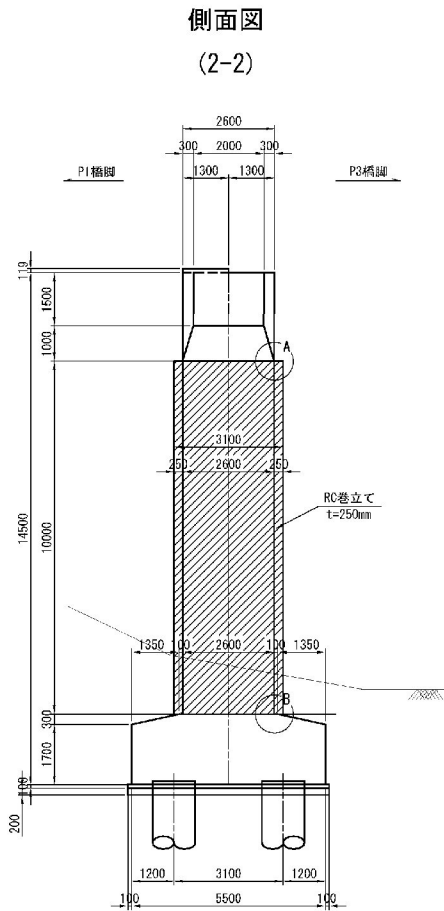
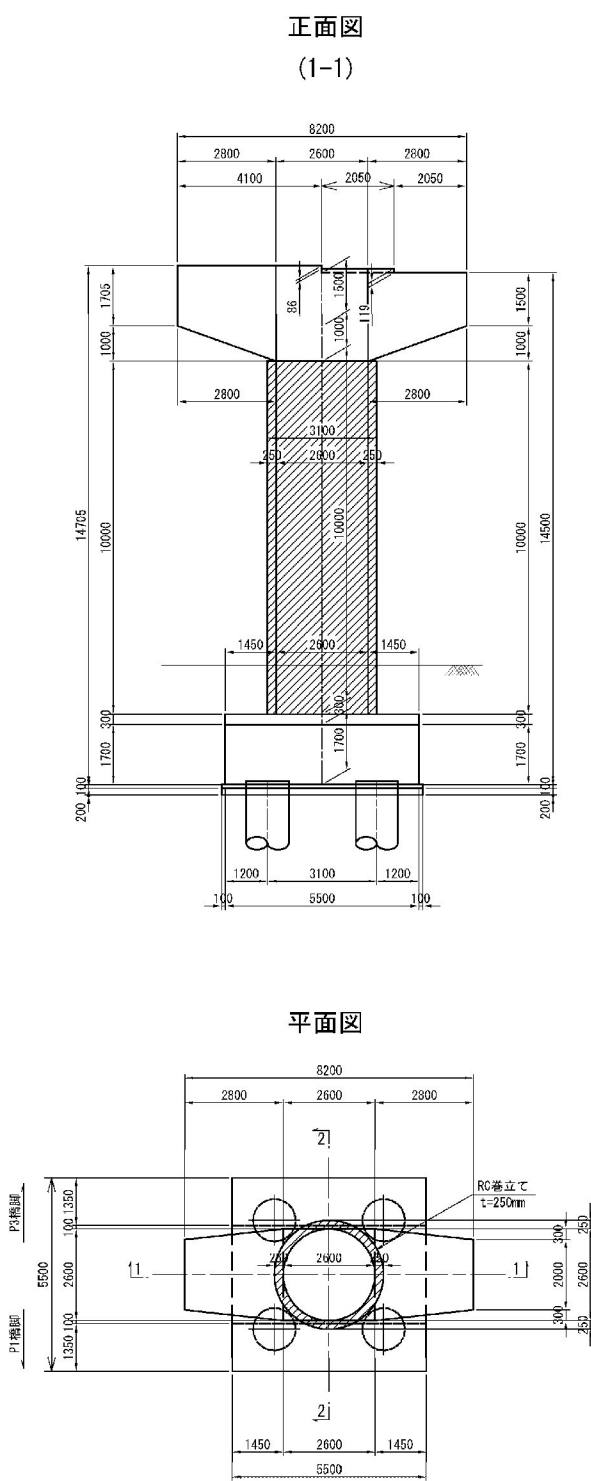


注) ① 補強部分 (既設面) は、コンクリート表面処理を行う。  
② 実施にあたっては、既設橋脚を計測し、形状、寸法の確認を行うものとする。

- 注 記
- 施工前に既設形状寸法を確認すること。
  - アンカー定着鉄筋の削孔にあたっては、既設フーチングの鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に調査、確認すること。
  - 現状形状寸法及び現況配筋状態を確認した後、鉄筋の配置を見直す場合は下記に留意すること。
    - アンカー定着鉄筋及び帯鉄筋の必要本数を配筋すること。
    - 鉄筋のあきを確保すること。
    - アンカー定着筋は、計画位置より外側に変更すること。
  - アンカー削孔径について  
充填材エポキシ樹脂系の場合：D+10mm
  - 非定着鉄筋の平面的な位置は、帯鉄筋の内側に揃えるように配筋すること。

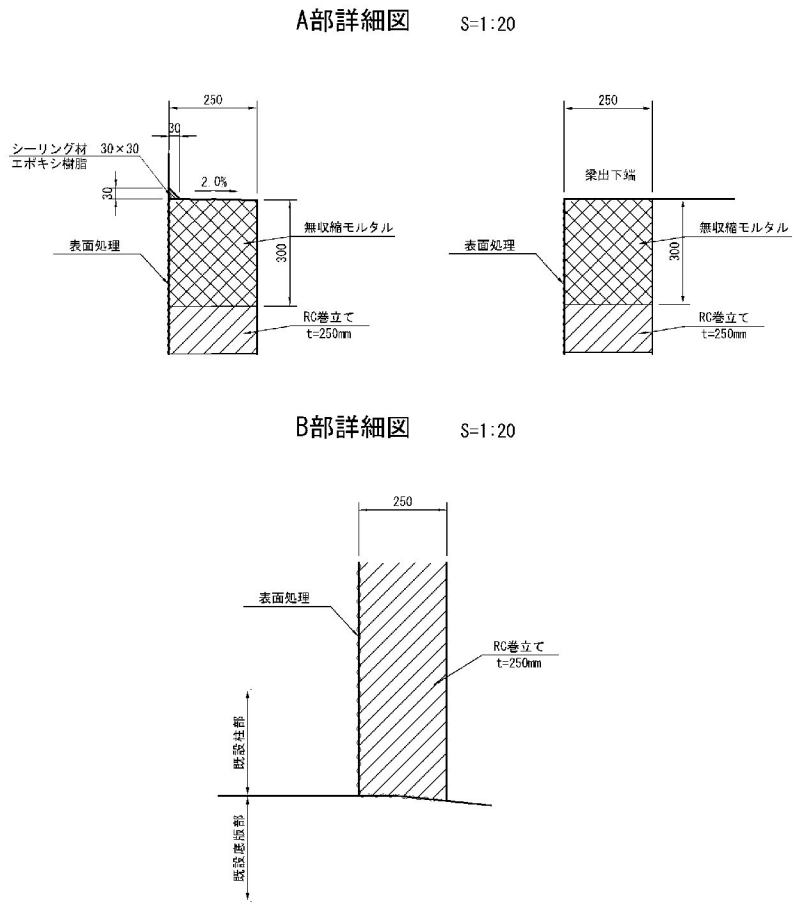
秋 田 自 動 車 道 満屋橋他 1 橋はく 落対策設計			
図面の種類	満屋橋 下部工構造一般図 ( 1 )		
	縮 尺	図面番号	/
事務所名	東日本高速道路株式会社 北上管理事務所		

満屋橋 P2橋脚構造一般図



使用材料

種 別	仕 様
コンクリート	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
鉄 筋	SD345



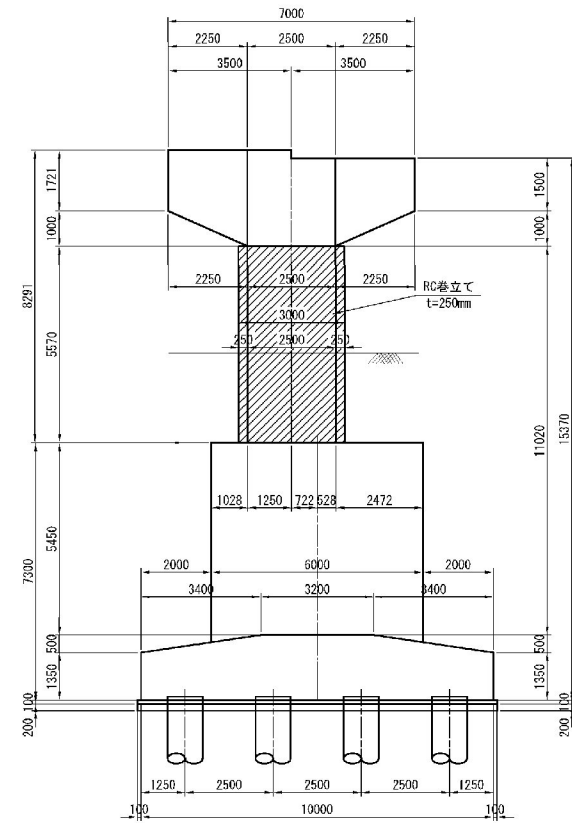
- 注) ① は、補強部分を示す。
- ② 補強部分（既設部）は、コンクリート表面処理を行う。
- ③ 実施にあたっては、既設橋脚を計測し、形状、寸法の確認を行うものとする。
- 注 記
- 施工前に既設形状寸法を確認すること。
  - アンカー定着鉄筋の削孔にあたっては、既設フーテングの鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に調査、確認すること。
  - 現況形状寸法及び現況配筋状態を確認した後、鉄筋の配置を見直す場合は下記に留意すること。
    - アンカー定着鉄筋及び帯鉄筋の必要本数を配置すること。
    - 鉄筋のあきを確保すること。
    - アンカー定着筋は、計画位置より外側に変更すること。
  - アンカー削孔径について  
元現材エポキシ樹脂系の場合：D+10mm
  - 非定着鉄筋の平面的な位置は、帯鉄筋の内側に接するように配置すること。

秋 田 自 動 車 道 満屋橋他 1 橋はく落対策設計	
図面の種類	満屋橋 下部工構造一般図（2）
縮 尺	—— 図面番号 /
事務所名	東日本高速道路㈱東北支社 北上管理事務所

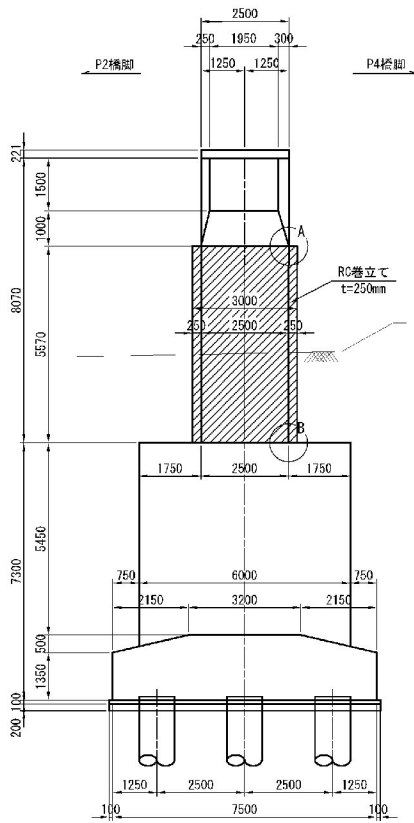


満屋橋 P3橋脚構造一般図

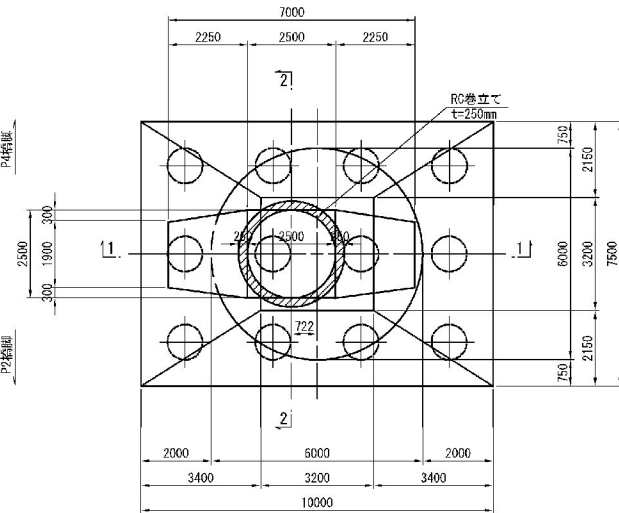
正面図  
(1-1)



側面図  
(2-2)



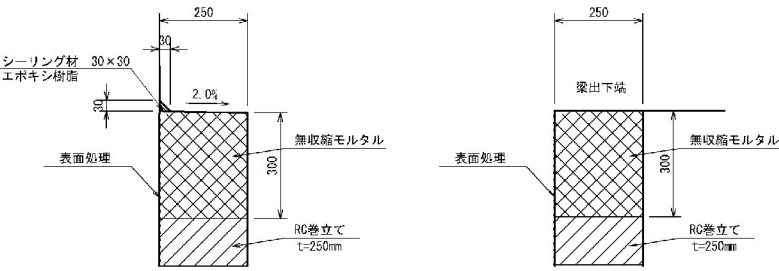
平面図



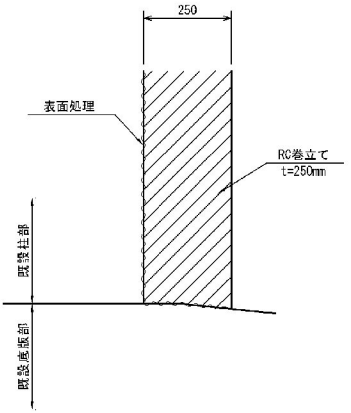
使用材料

種 別	仕 様
コンクリート	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
鉄 筋	S345

A部詳細図 S=1:20



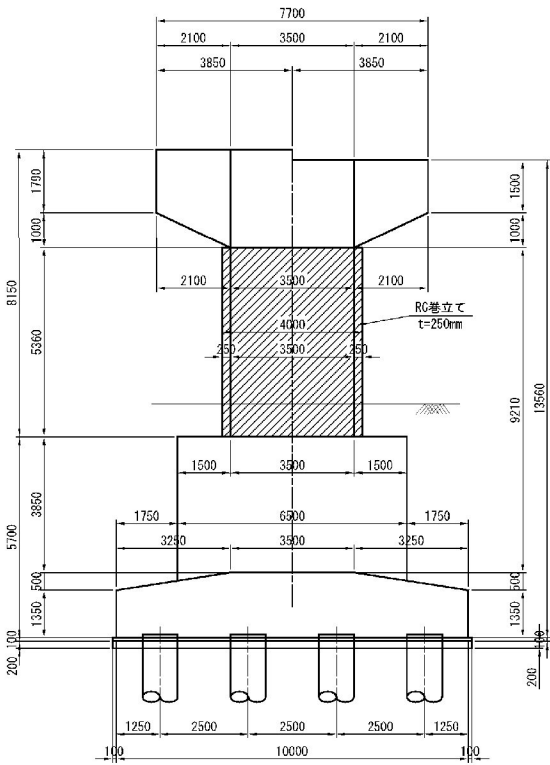
B部詳細図 S=1:20



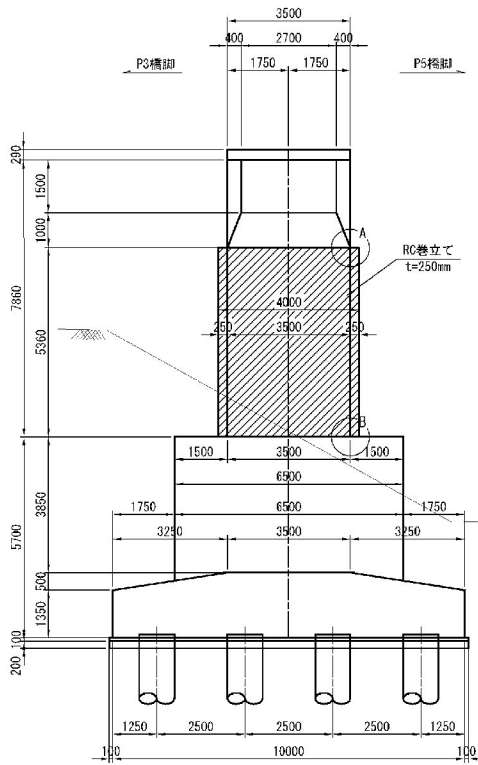
- 注) ① は、補強部分を示す。  
② 補強部分（既設面）は、コンクリート表面処理を行う。  
③ 実施にあたっては、既設橋脚を計測し、形状、寸法の確認を行うものとする。
- 注 記
- 1) 施工前に既設形状寸法を確認すること。
  - 2) アンカー定着鉄筋の削孔にあたっては、既設フーチングの鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に調査、確認すること。
  - 3) 概況形状寸法及び現況配筋状態を確認した後、鉄筋の配置を見直す場合は下記に留意すること。
    - ・アンカー定着鉄筋及び帯鉄筋の必要本数を配置すること。
    - ・鉄筋のあきを確保すること。
    - ・アンカー定着筋は、計画位置より外側に変更すること。
  - 4) アンカー削孔径について  
充填材エポキシ樹脂系の場合：D+10mm
  - 5) 非定着鉄筋の平面的な位置は、帯鉄筋の内側に接するように配置すること。

満屋橋 P4橋脚構造一般図

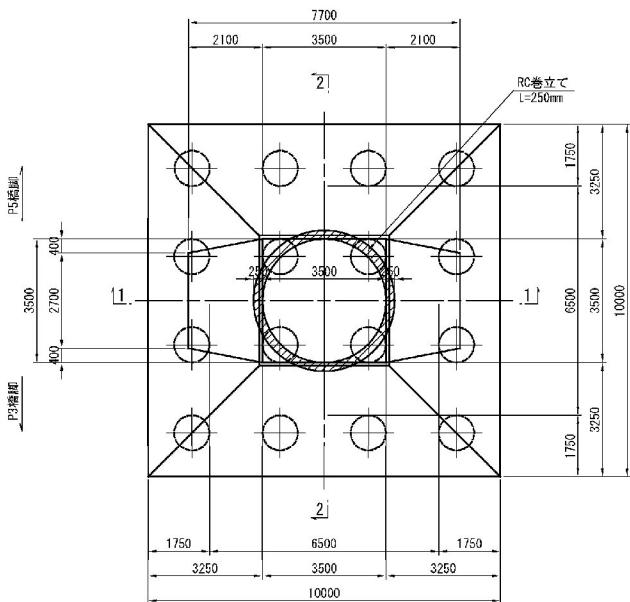
正面図  
(1-1)



側面図  
(2-2)



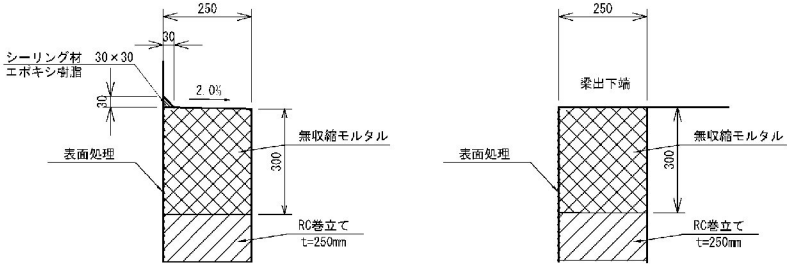
平面図



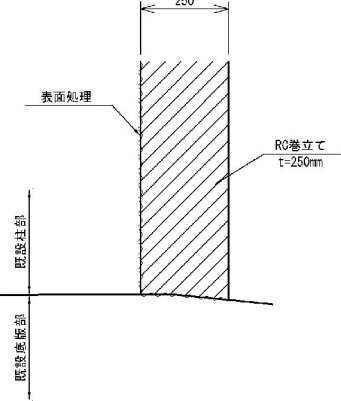
使用材料

種別	仕様
コンクリート	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
鉄筋	SD345

A部詳細図 S=1:20



B部詳細図 S=1:20

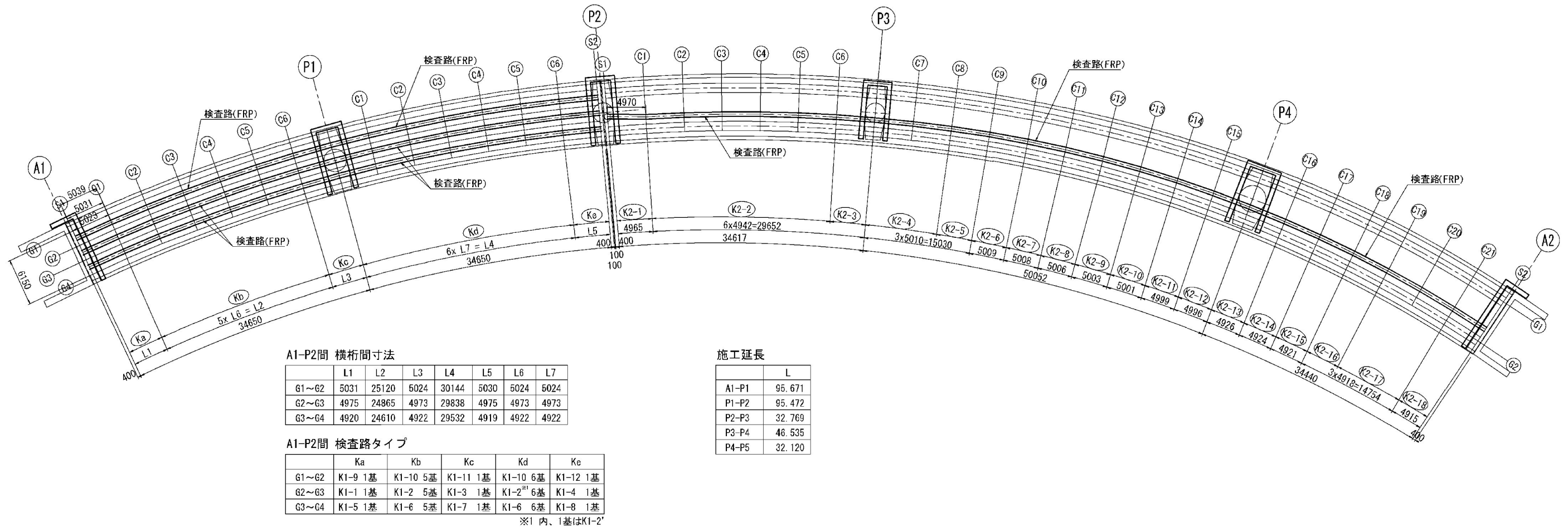


- 注) ① は、補強部分を示す。  
② 補強部分（既設面）は、コンクリート表面処理を行う。  
③ 実施にあたっては、既設橋脚を計測し、形状、寸法の確認を行うものとする。
- 注 記
- 1) 施工前に既設形状寸法を確認すること。
  - 2) アンカー定着鉄筋の剛孔にあたっては、既設フーチングの鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に調査、確認すること。
  - 3) 現況形状寸法及び現況配筋状態を確認した後、鉄筋の配筋を見直す場合は下記に留意すること。
    - アンカー定着鉄筋及び帯鉄筋の必要本数を配筋すること。
    - 鉄筋のあきを確認すること。
    - アンカー定着筋は、計画位置より外側に変更すること。
  - 4) アンカー剛孔径について  
充填材エポキシ樹脂系の場合：D+10mm
  - 5) 非定着鉄筋の平面的な位置は、帯鉄筋の内側に接するように配筋すること。

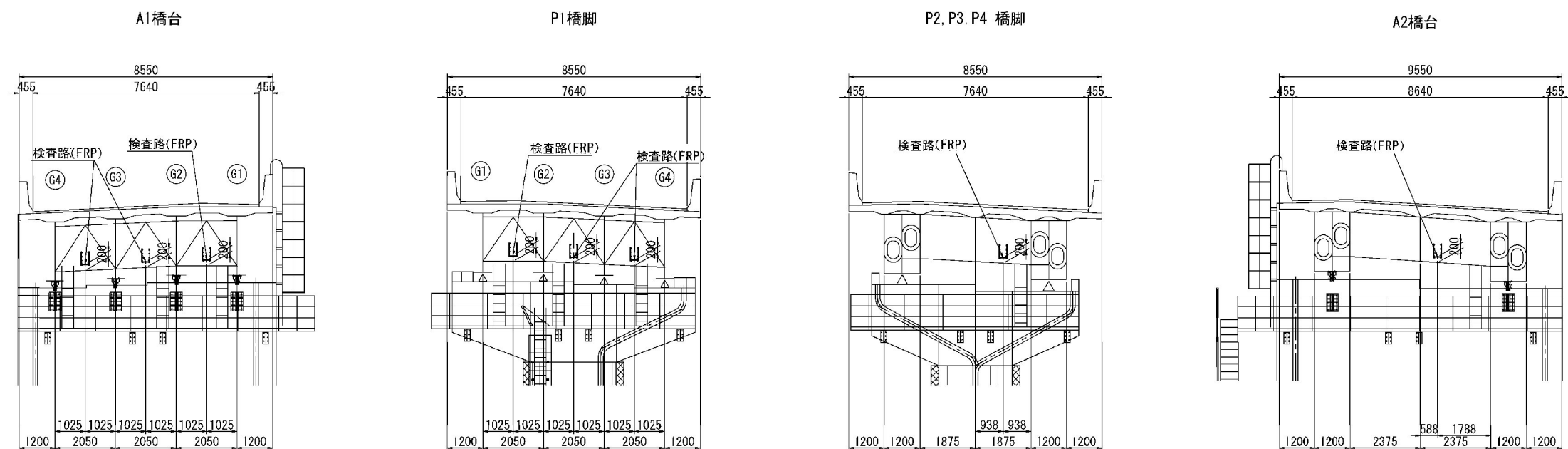
秋田自動車道 満屋橋他1橋はく落対策設計			
図面の種類	満屋橋 下部工構造一般図（４）		
	縮 尺	図面番号	/
事務所名	東日本高速道路株式会社 北上管理事務所		

## 満屋橋 上部工検査路図

平面图

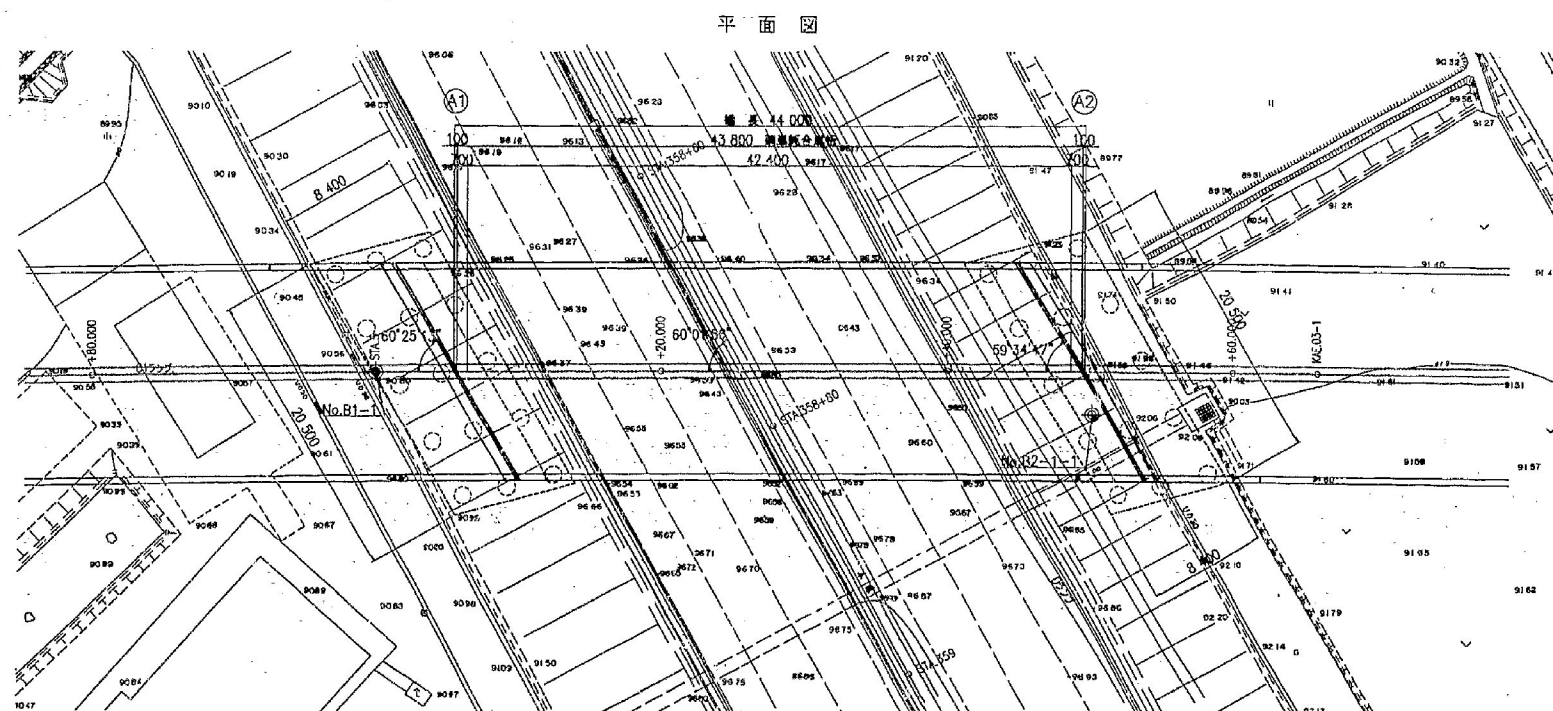
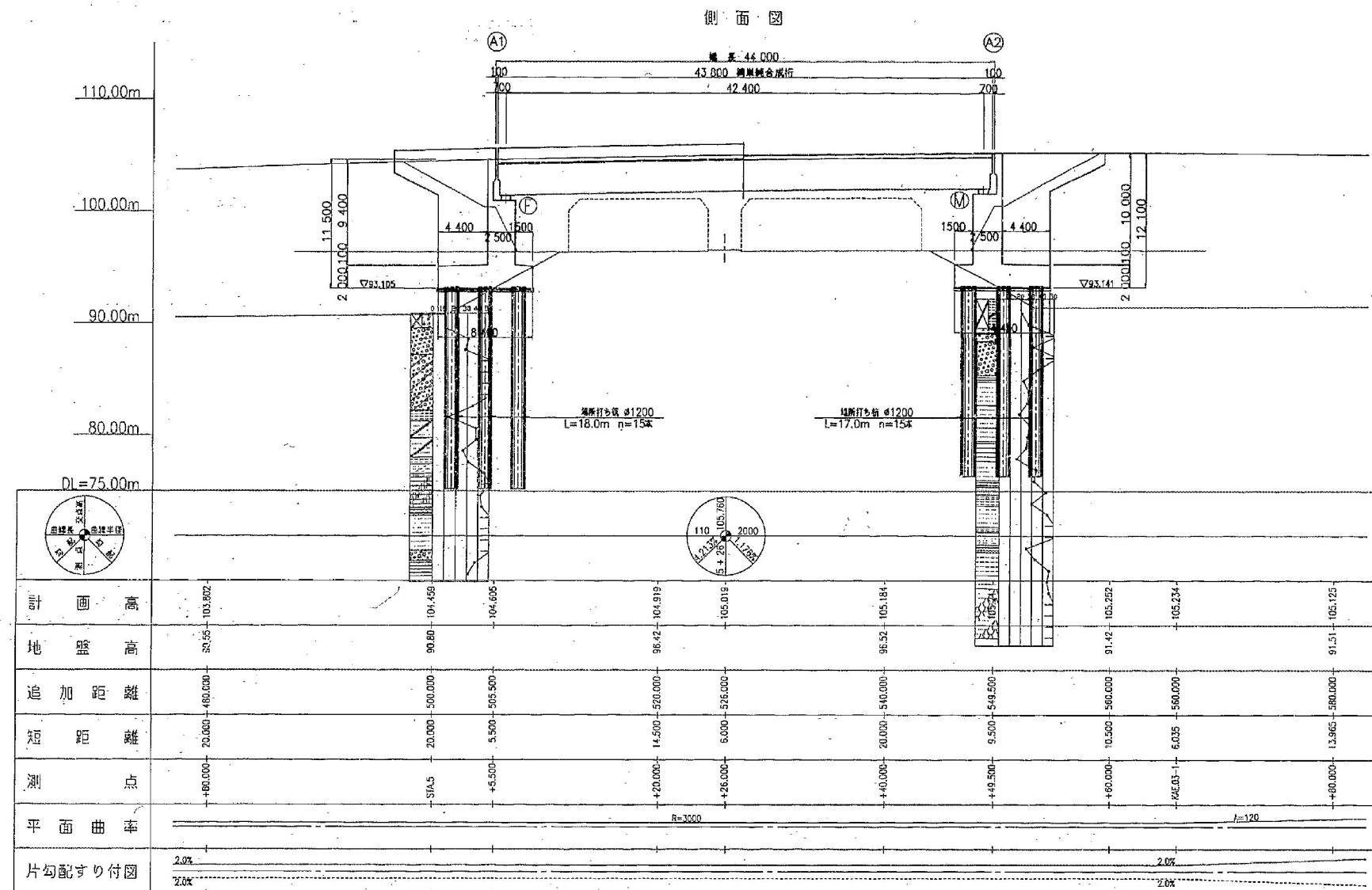


断面图 S=1:200

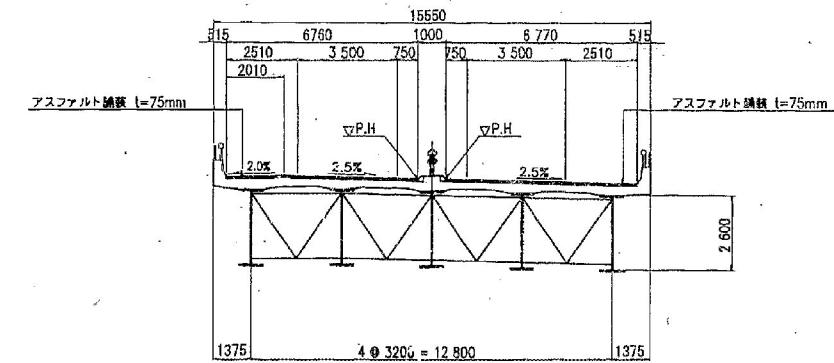




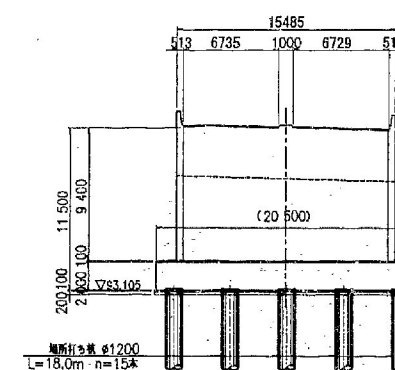
## 天下田橋 全体一般図



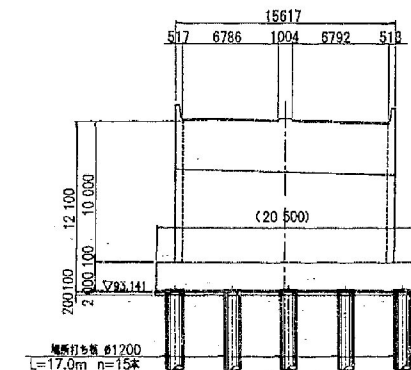
上部工標準断面図 縮尺 1:100



A1橋台

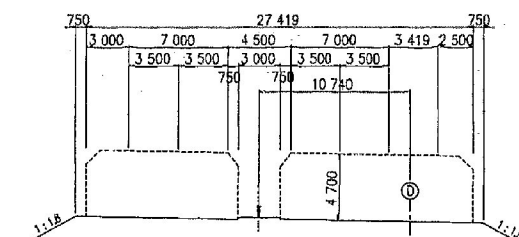


A2橋台



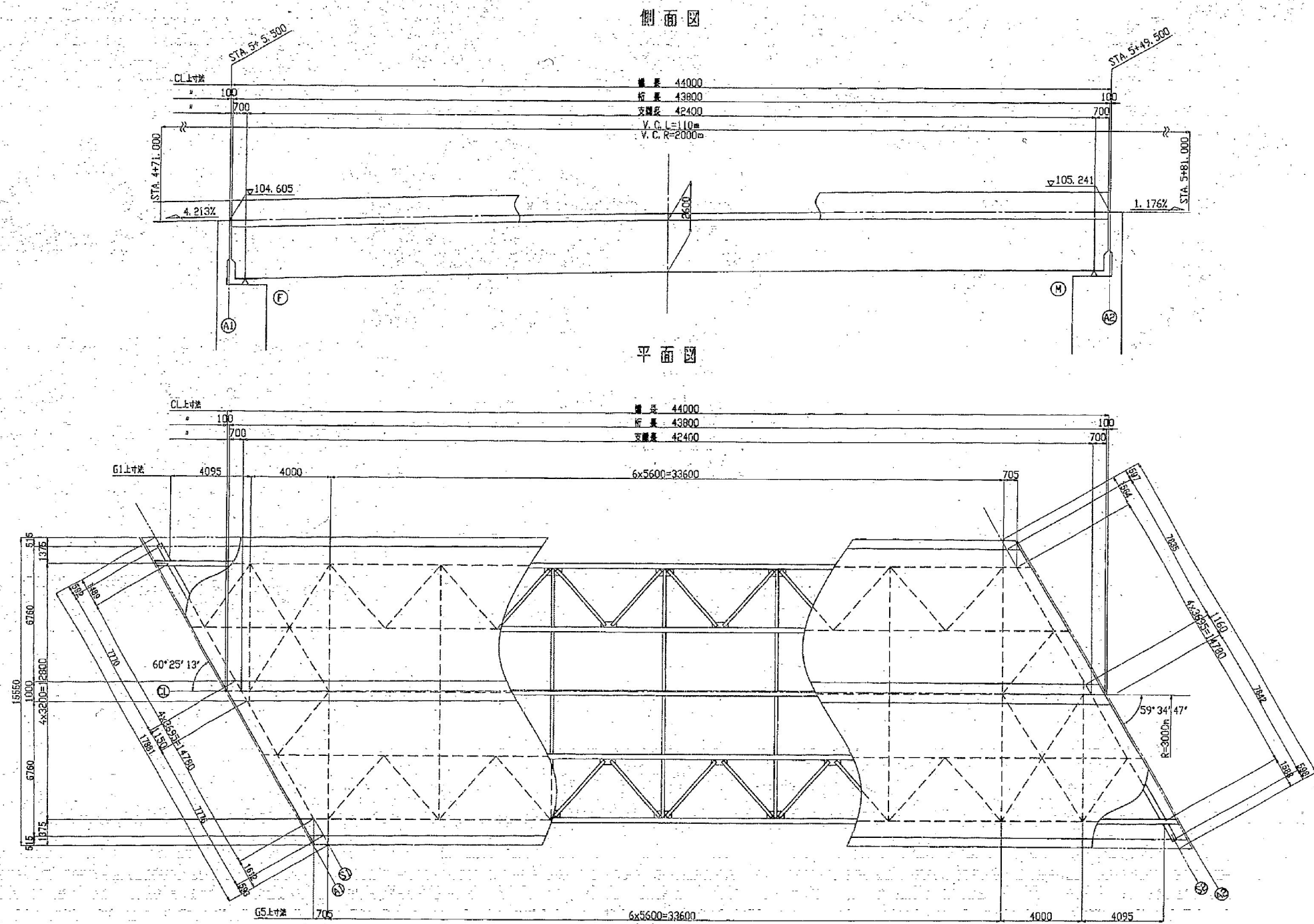
※( )内数値は、フーチング真上方向の値を示す。

交差道路断面図  
東北縦貫自動車道  
STA.358+75.5 (C-STA.5+26.0)

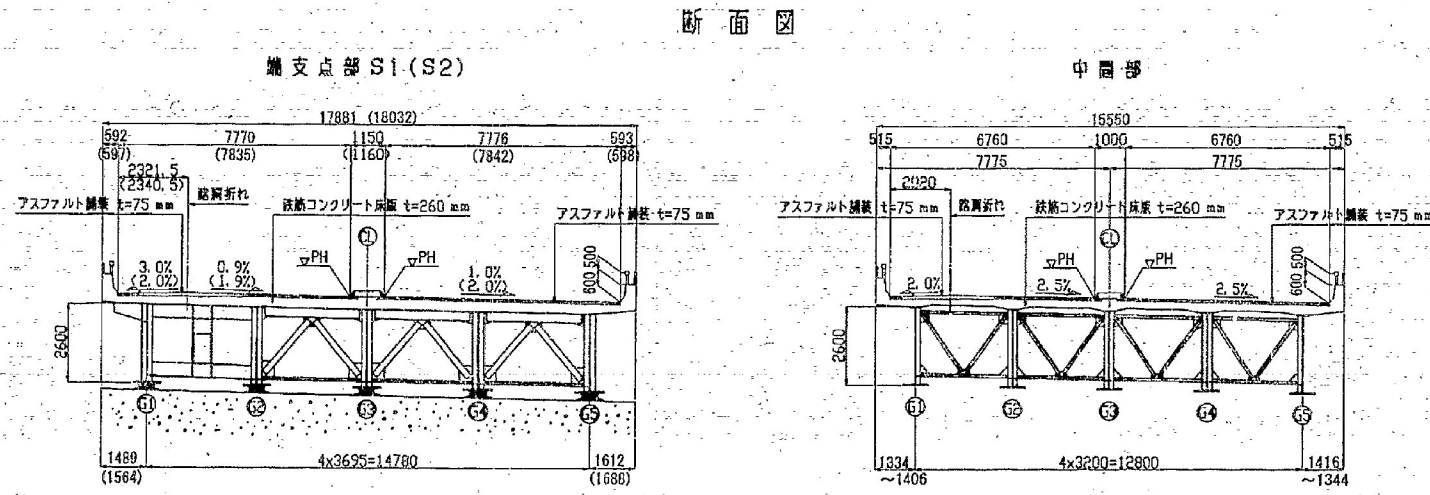


設計条件			
掘 削 長	44.000m	掘 削 量	43.800m
掘 削 区 分	第 3 層 A 掘削 ( $V=40\text{m}^3/\text{h}$ )		
掘 削 区 画	B 区青函		
形 式	開削斜壁式成層削		
断面	43.000m		
有 効 断 面	6760 m $\times$ 2		
傾 斜 角	A1 掘削 右 60°00'00"	A2 掘削 右 60°00'00"	
交 角	A1 掘削 右 50°25'13"	開削斜壁 右 60°01'56"	A1 掘削 右 59°34'47"
掘 削 勾 配	2.500% 直線片勾配		
掘 削 勾 配	4.213%	1.176%	VOL = 110m
掘 削 計 画	水平直度 Kh = 0.25		
床 面 斜 率	$\sigma_{sk} = 30 \text{ H}/\text{mm}^2$		
床 面 材 質	材質 SD345 許容引張力強度 $\sigma_{sg} = 140 \text{ N}/\text{mm}^2$		
使 用 材 料	S440, S490Y		
施 工 方 法	道路掘削工事 既設道 ト V (平成 9 年 12 月)		

秋田自動車道 満屋橋他1橋はく落対策設計			
図面の種類	天下田橋 全体一般図		
縮 尺	—	図面番号	/
事務所名	東日本高速道路㈱東北支社 北上管理事務所		

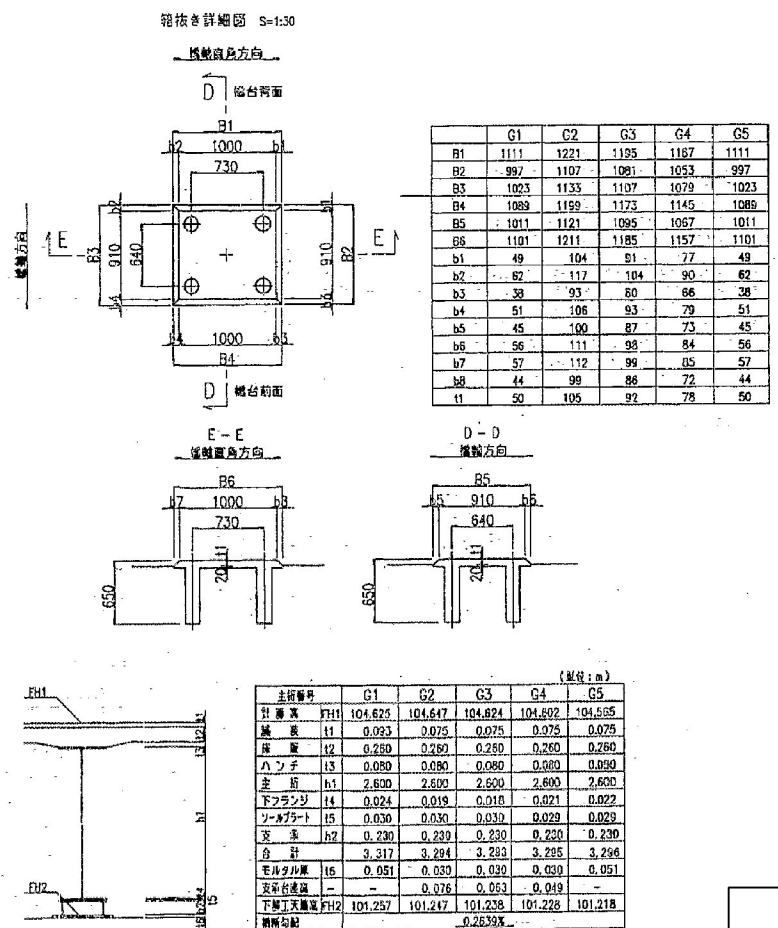
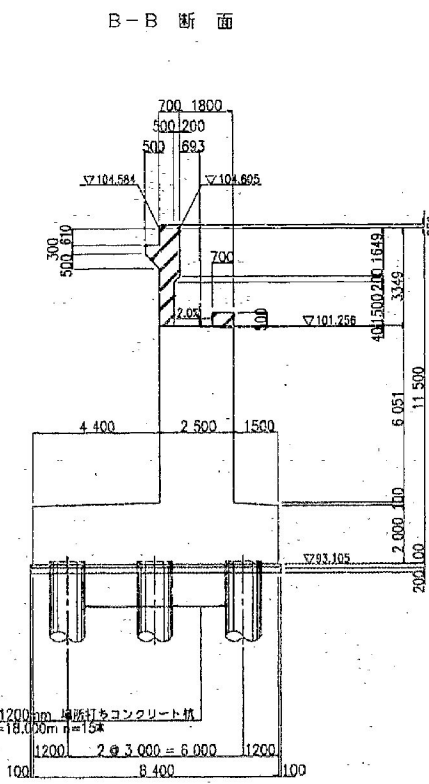
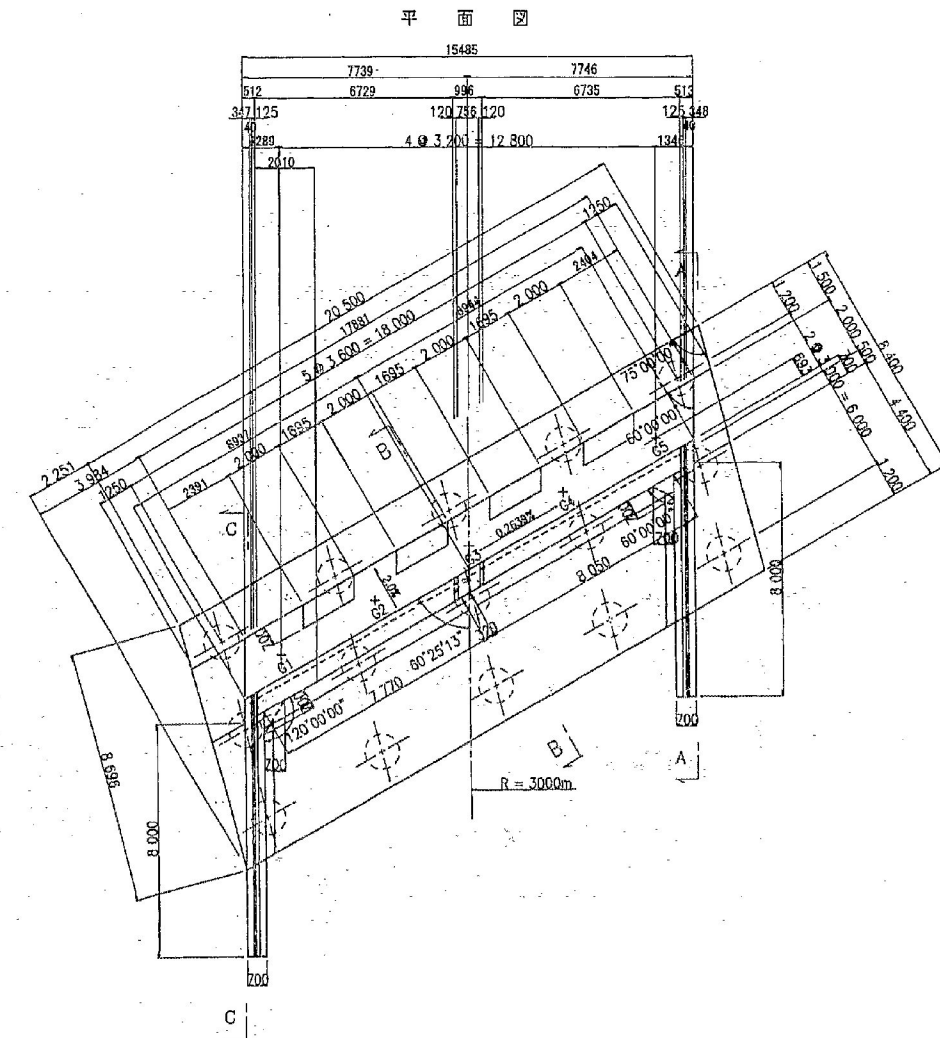
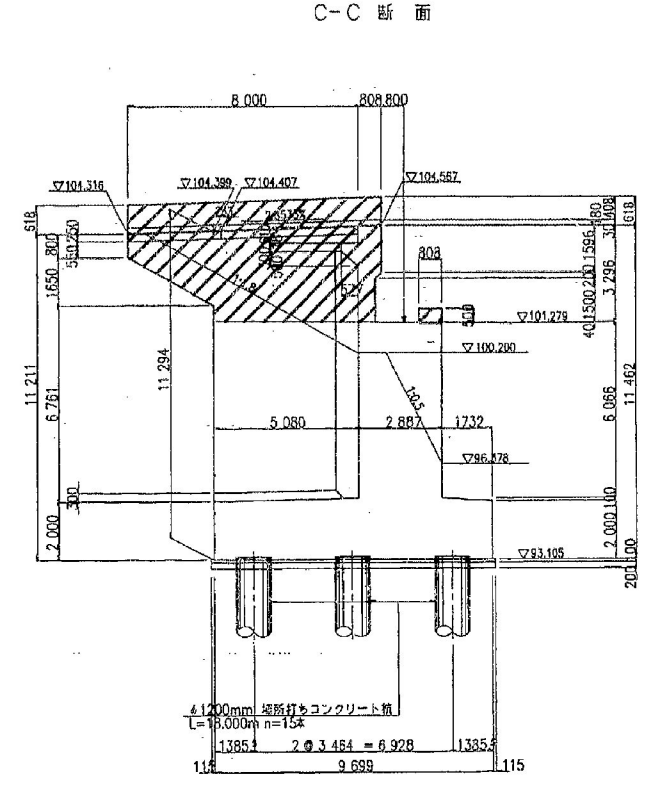
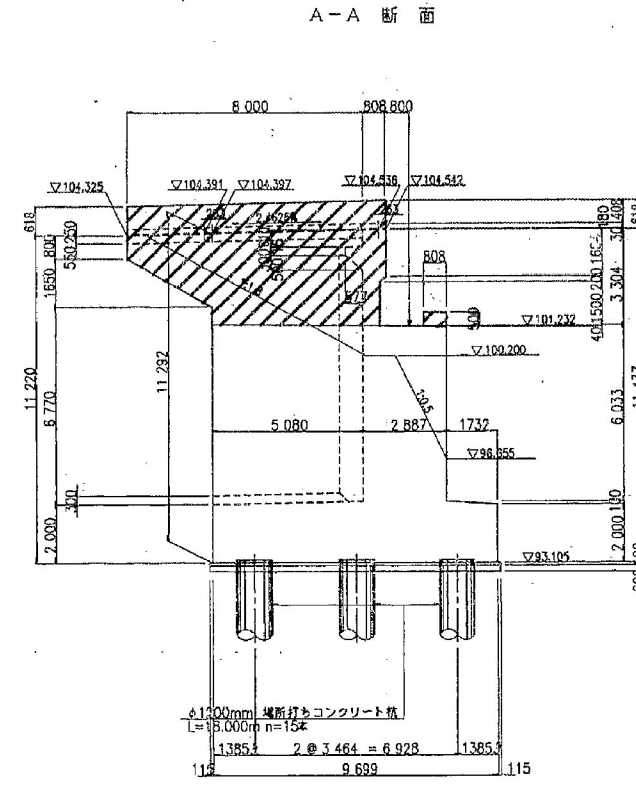
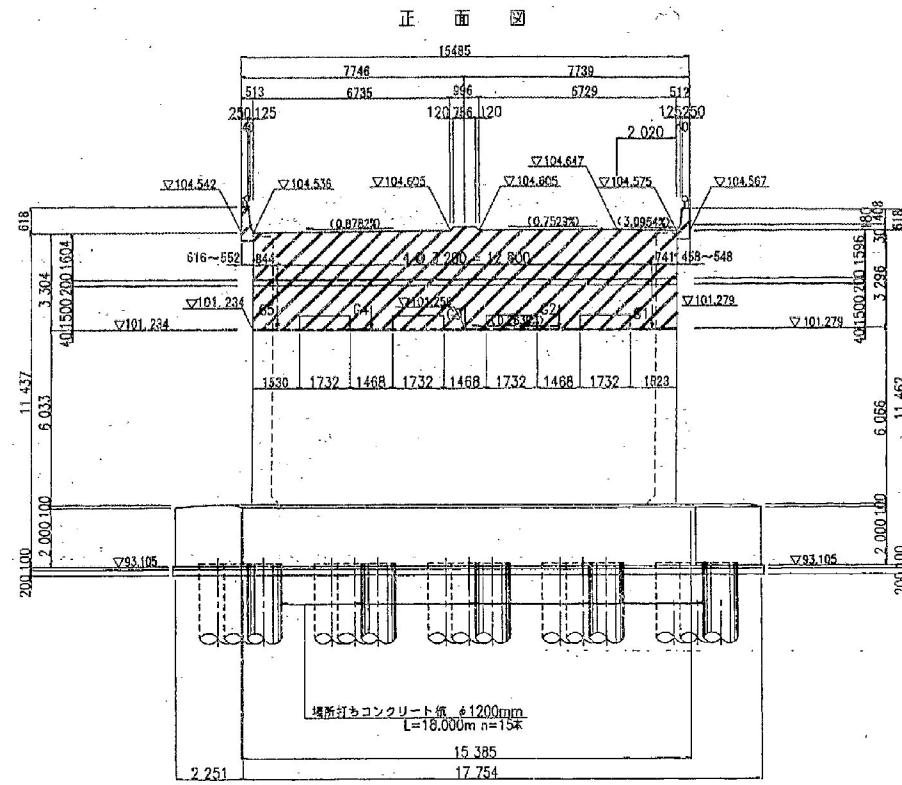


設計条件	
橋長	44,000 m
橋幅員	43,800 m
道路規格	第3種A規格
活荷重	B活荷重
型式	鋼床版合成板桁橋
支間長	42,400 m
有効橋長	6,760 + 6,760 m
斜角	A1: 60°25'13", A2: 59°34'47"
平面線形	R=3000 m
縦断勾配	2.50% 直線片断勾配
横断勾配	4.213% ~ 1.176% VCL=110 m
縦断方向	KH = 0.25 (A1, A2)
設計速度	通過速度 KH = 0.22 (A1) KH = 0.21 (A2)
床版コンクリート	ack=30 N/mm <sup>2</sup>
床版材料	材質 SD345
使用材料	鋼材: SS400, SM400, SM490Y
道床材	トリスア形高力ポルト M22 S10T
適用示方書	設計要領第二集/日本道路公団/平成10年7月 道路橋示方書・四版改訂/日本道路協会/平成8年12月



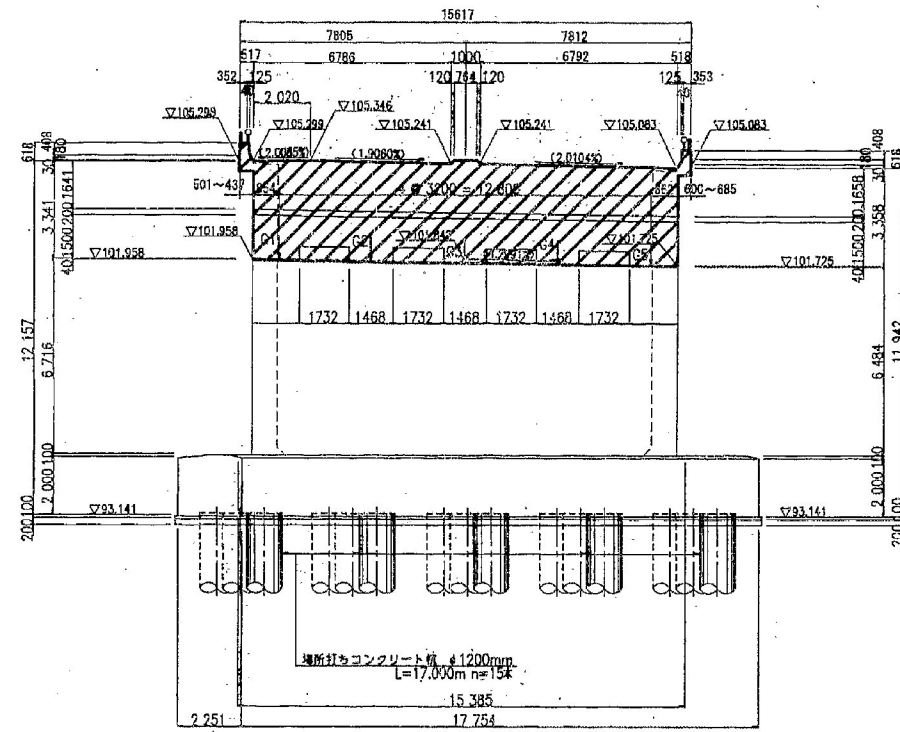
秋田自動車道 満屋橋他1橋はく落対策設計	
図面の種類	天下田橋 上部工構造一般図
縮尺	図面番号 /
事務所名	東日本高速道路株式会社 北上管理事務所



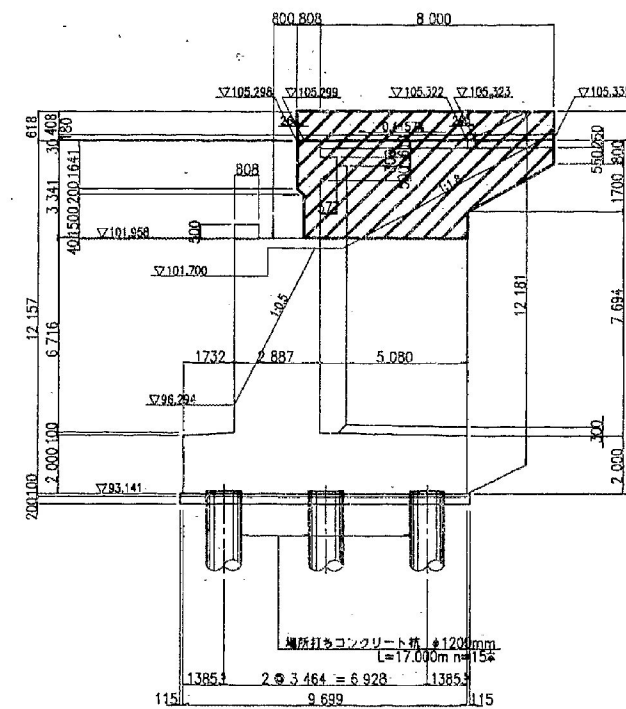




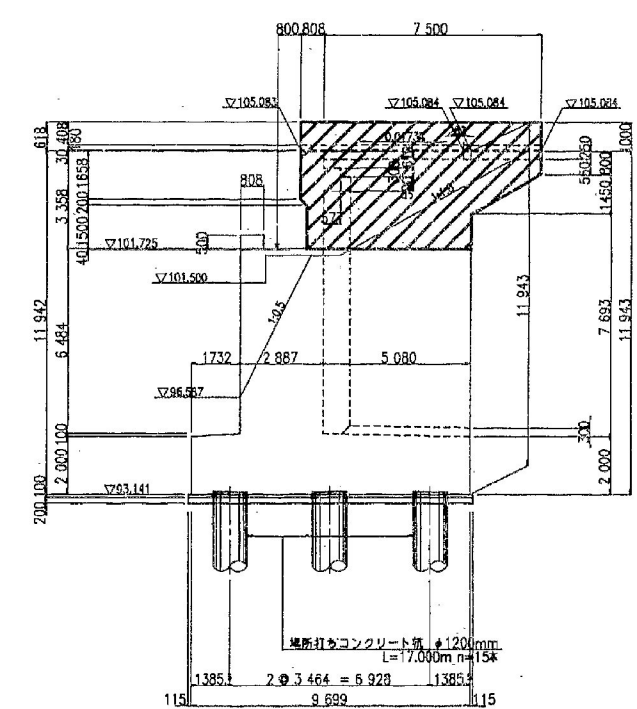
正 面 圖



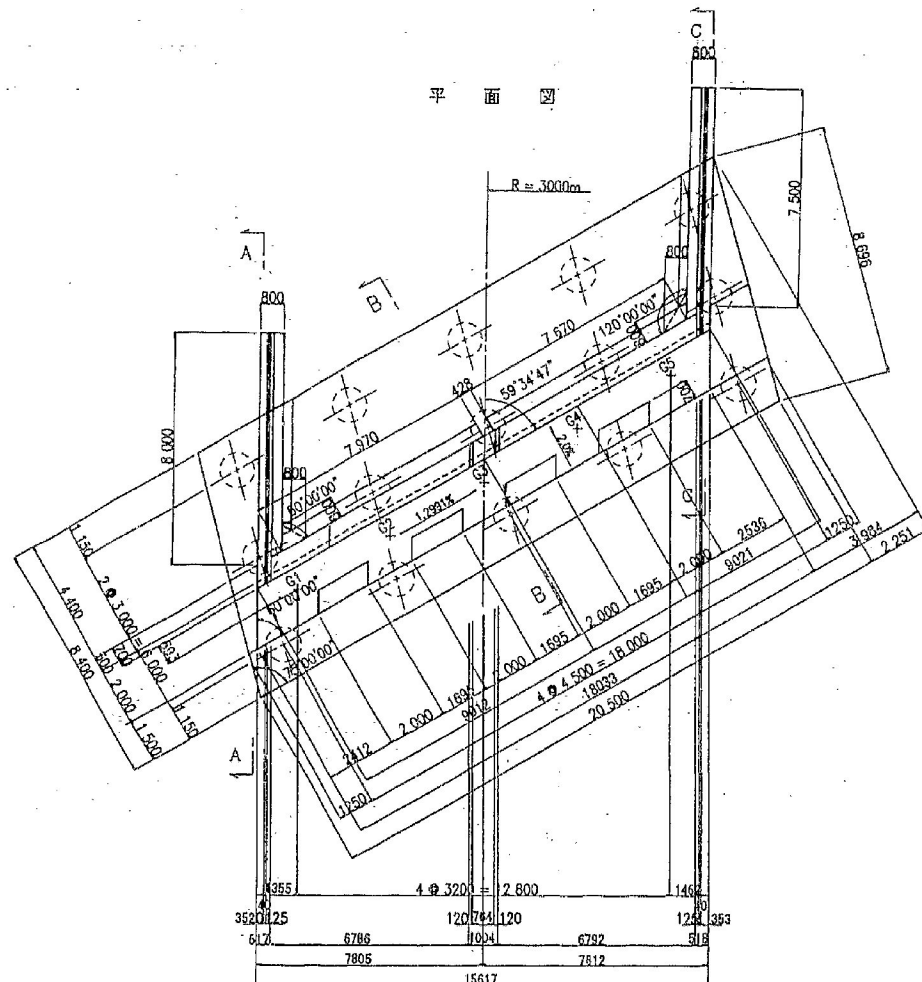
A-A 断面



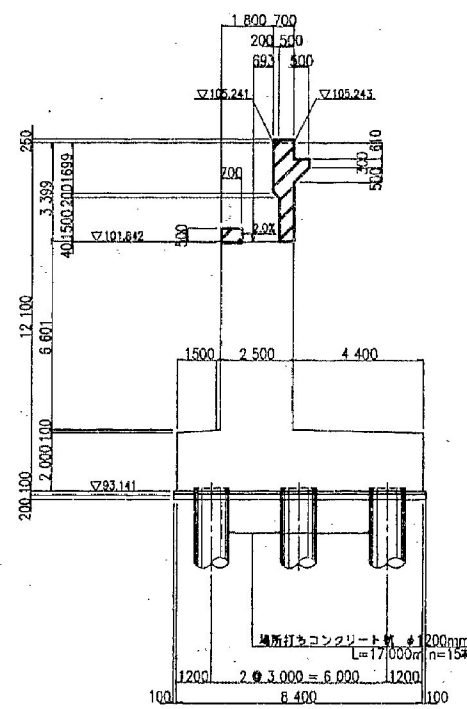
C-C 断面



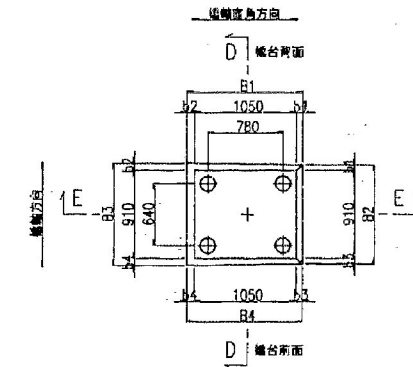
平面图



B-B 断面

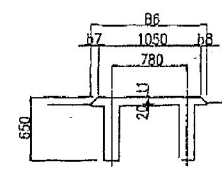


箱抜き詳細図 S=1:30

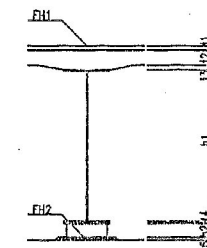
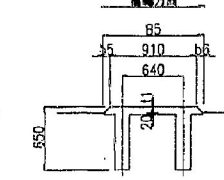


	G1	G2	G3	G4	G5
B1	1170	1274	1256	1232	1172
B2	998	1120	1084	1060	1000
B3	1182	1266	1268	1044	1184
B4	1050	1254	1236	1212	1152
B5	1020	1224	1166	1082	1022
B6	1150	1264	1246	1222	1162
b1	49	101	92	80	50
b2	71	123	114	102	72
b3	39	91	92	70	40
b4	61	113	104	92	62
b5	50	102	93	81	51
b6	60	112	103	91	61
b7	65	118	109	97	67
b8	44	96	87	75	45
t1	55	107	98	86	56

—攝影角度方向—



D-0  
機軸左白

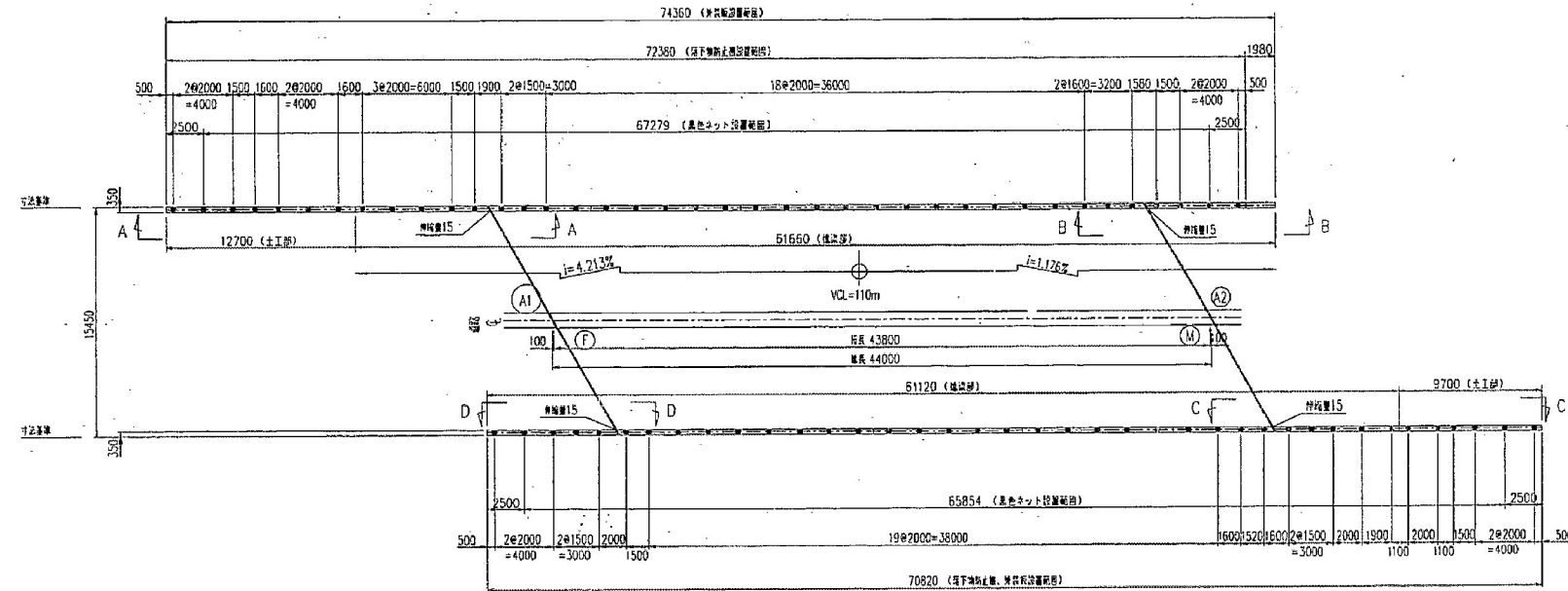


分析番号	G1	G2	G3	G4	G5
目録	105.314	105.287	105.237	105.178	105.104
前	11	0.094	0.075	0.075	0.075
後	12	0.280	0.280	0.280	0.280
ハン	13	0.080	0.090	0.090	0.090
ン	14	2.800	2.800	2.800	2.800
フ	15	0.022	0.021	0.019	0.024
ラ	16	0.025	0.024	0.024	0.023
マ	17	0.257	0.257	0.257	0.257
ル	18	3.238	3.117	3.116	3.115
ル	19	0.055	0.053	0.053	0.051
ル	20	0.078	0.069	0.067	0.067
下段上段両方	101.920	101.872	101.824	101.776	101.726
下段のみ			12.291		

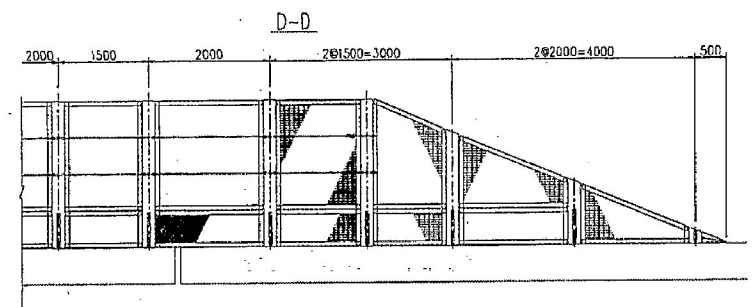
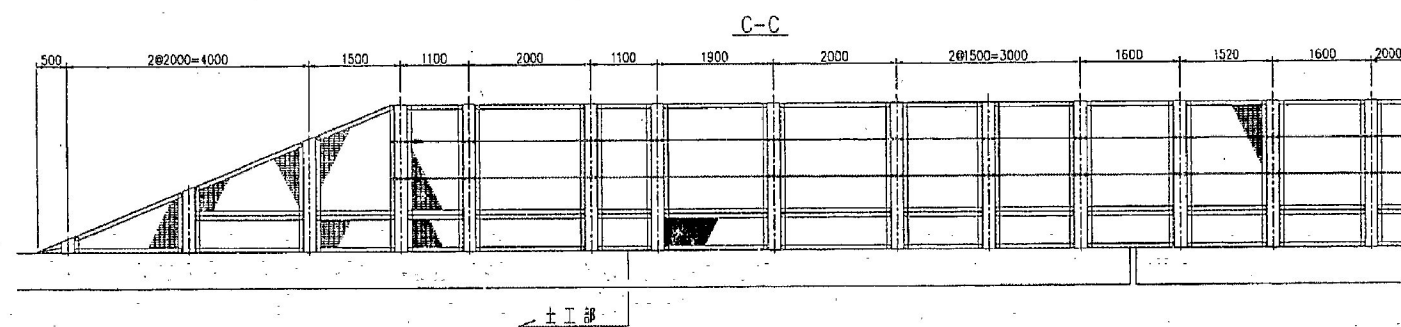
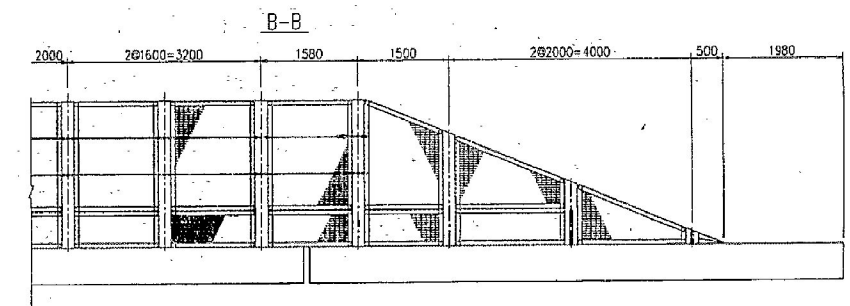
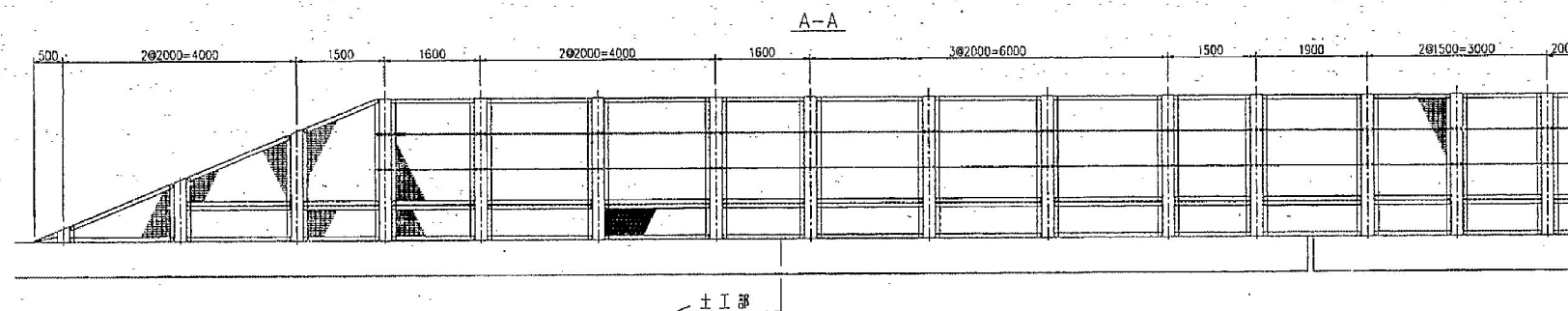
秋田自動車道 満屋橋他1橋はく落対策設計		
図面の種類	天下田橋 下部工構造一般図（２）	
縮 尺	——	図面番号 /
事務所名	東日本高速道路㈱東北支社 北上管理事務所	

配置図 S=1/200

注) 寸法は寸法基準位置の算出値を示す。



姿図 S=1/50

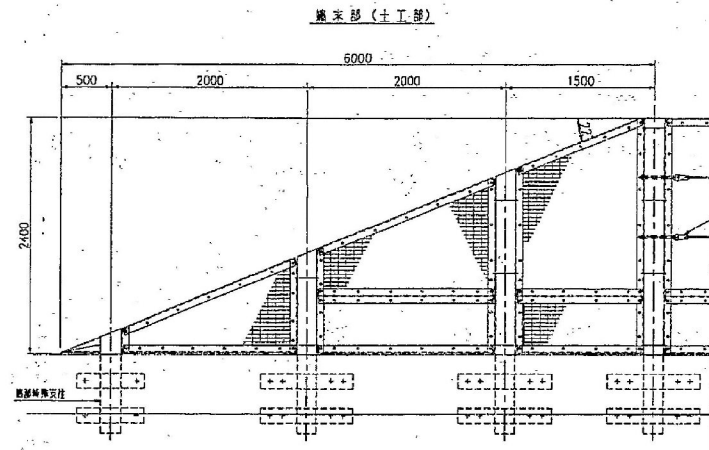
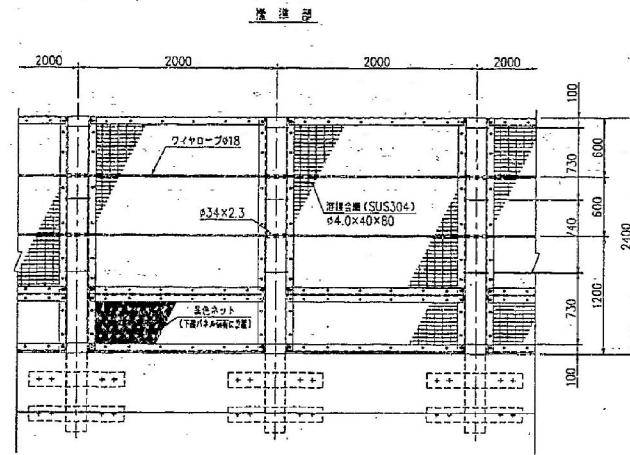


秋田自動車道 満屋橋他1橋はく落対策設計	
図面の種類	天下田橋 落下物防止柵 F 1 (1)
縮尺	図面番号 /
事務所名	東日本高速道路株式会社 北上管理事務所

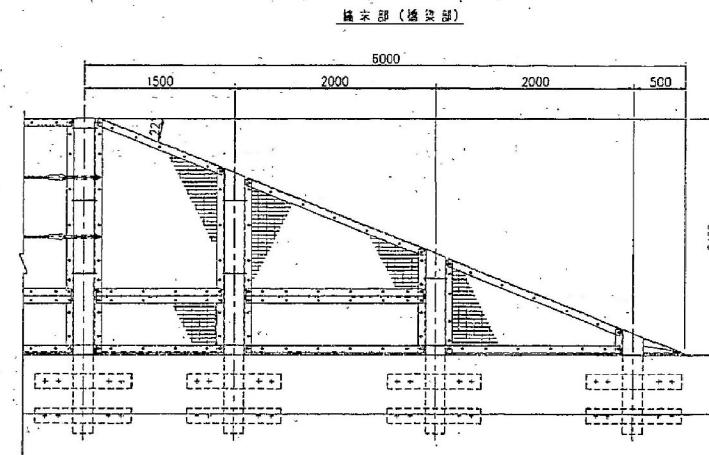


## 天下田橋 落下物防止柵 F 1 (2)

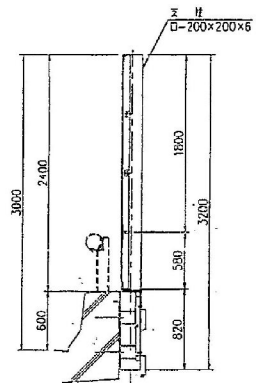
一般図 S=1/30

總末部 (土工部)

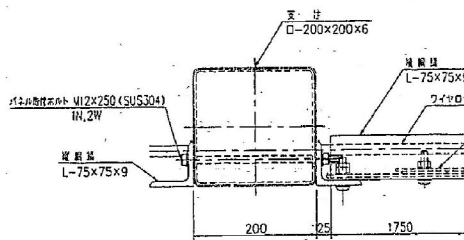
無類



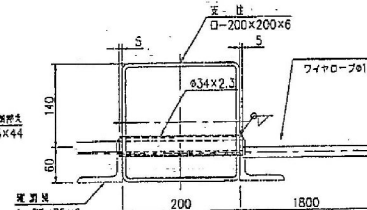
機末部 (機末部)



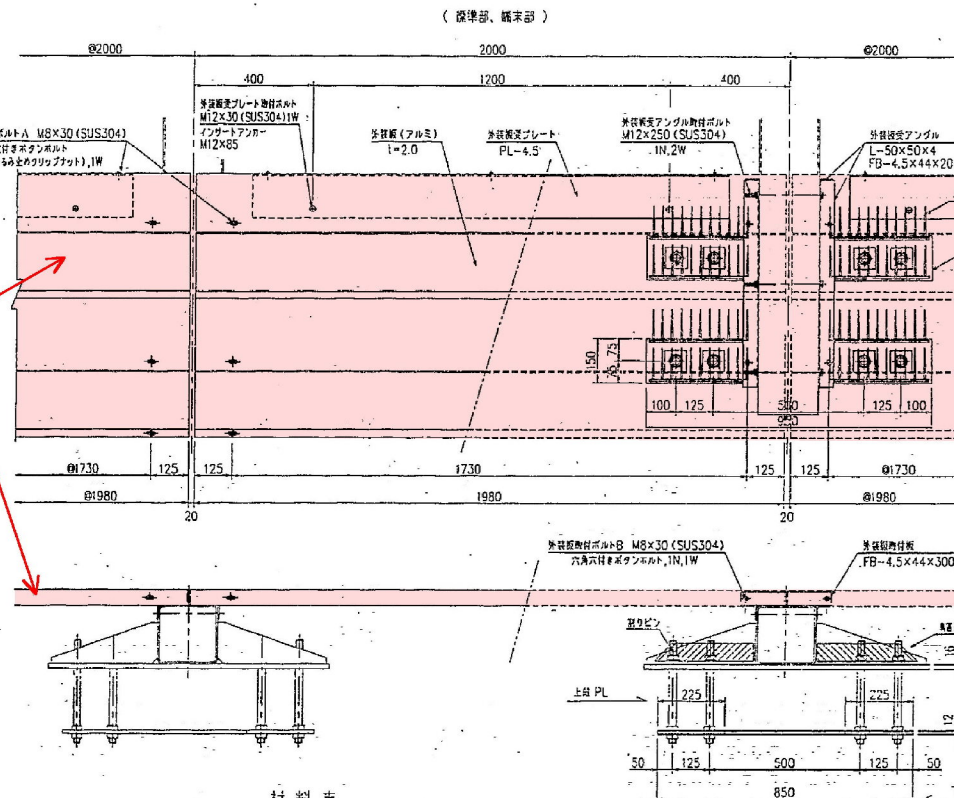
パネル取付詳細図 S=1/5



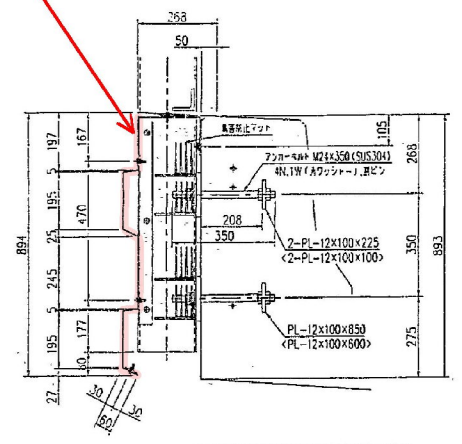
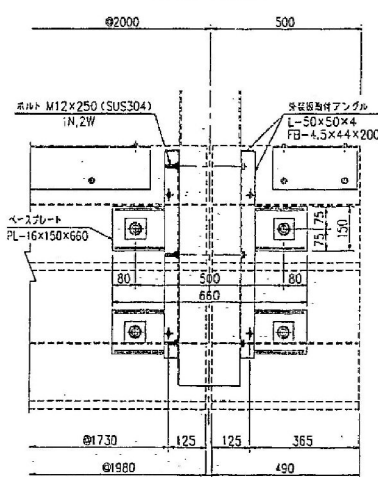
ワイヤロープ取付詳細図 S=1/5



支柱定着部詳細図 S=1/10

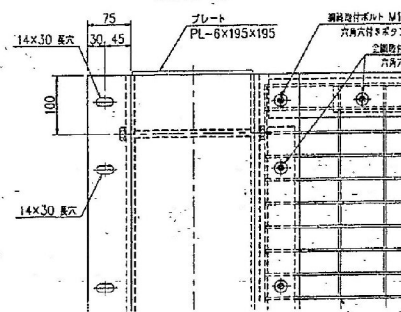


罐部特殊夏柱(土工部)

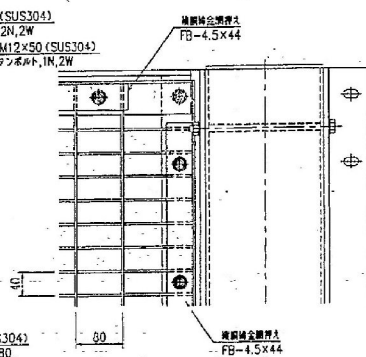


※く)内は機部特殊支注(土工部)を示す。

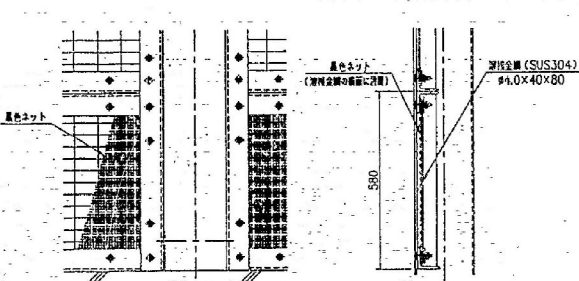
(正面圖)



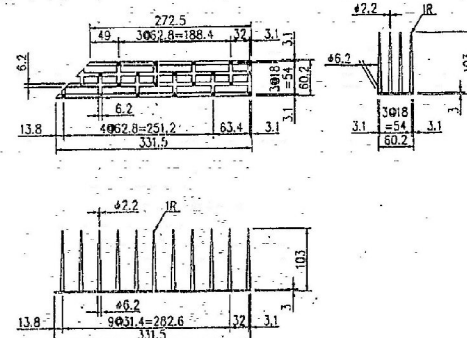
(背面圖)



黒色ネット取付詳細図 S=1/10



鳥害防止マット詳細図 S=1/5



### 材料表

名 称		材 質	寸 法	重 量	備 考
	主 機	Q-207X200X8.0x1200		59kg	167kg
	主 機	PL-150X185X150		56kg	9853.0kg
	取 扱 機 (1)	7-75X75X92X230	57mm	24.0kg	1368.0kg
	取 扱 機 (2)	7-73X73X92X230	57mm	24.0kg	1368.0kg
	取 扱 機 (3)	7-75X75X92X175	16mm	17.7kg	985.0kg
		7-75X75X92X160	3mm	16.7kg	933.6kg
	取 扱 機	7-75X75X92X130	16mm	13.7kg	218.2kg
		7-75X75X92X130	4mm	13.5kg	54.0kg
		7-75X75X92X70	16mm	7.7kg	12.8kg
		7-75X75X92X125	28mm	12.6kg	352.8kg
	取 扱 機 取 扱 機 (上 部)	FB-44X4.5X1620	114mm	2.58kg	294.1kg
		FB-44X4.5X380	114mm	0.60kg	68.4kg
	取 扱 機 取 扱 機 (下 部)	FB-44X4.5X1840	176mm	2.58kg	304.8kg
	取 扱 機 取 扱 機 (下 部)	FB-44X4.5X1220	20mm	1.94kg	38.8kg
		FB-44X4.5X160	23mm	1.69kg	54.1kg
		44.0X40X80 (1760X1780)	11.4mm	4.85kg	18.8kg
		44.0X40X80 (1760X1680)	2mm	10.0kg	21.6kg
		44.0X40X80 (1760X350)	4mm	8.81kg	35.2kg
		44.0X40X80 (1760X140)	3mm	8.68kg	8.7kg
		44.0X40X80 (1760X150)	3mm	8.88kg	8.8kg
		44.0X40X80 (1760X1280)	7mm	8.16kg	57.1kg
		44.0X40X80 (520X1760)	62mm	3.72kg	156.2kg
		44.0X40X80 (350X1680)	2mm	3.30kg	7.0kg
		44.0X40X80 (520X1360)	1.5mm	2.87kg	18.8kg
		44.0X40X80 (520X1340)	1.5mm	2.63kg	7.8kg
		44.0X40X80 (520X1280)	1.5mm	2.71kg	2.7kg
		44.0X40X130 (500X1280)	3mm	2.68kg	18.6kg
		44.0X40X130 (500X1760)	4mm	0.16kg	0.4kg
		44.0X40X130 (500X1880)	4mm	0.20kg	0.4kg
		44.0X40X130 (500X1360)	4mm	0.12kg	0.5kg
		44.0X40X130 (500X1340)	1.5mm	0.12kg	0.1kg
		44.0X40X130 (500X1280)	0.5mm	0.12kg	0.1kg
		44.0X40X130 (500X1760)	7mm	0.31kg	0.8kg
	取 扱 機 取 扱 機 (下 部)	M12X250 (1760X1680X230) 2N, 2W	455mm	0.10kg	45.6kg
	取 扱 機 取 扱 機 (下 部)	M12X250 (1760X1680X230) 1N, 2W	455mm	0.10kg	45.6kg
	フ ァ ー マ ー	3X10.0 (4.0X10.0)	230mm	1.10kg	26.1kg
	フ ァ ー マ ー	4X25X250	4mm	2.90kg	11.2kg
	バ ッ ク 取 扱 機	M12X250 (1760X1680X230) 1N, 2W	230mm	0.18kg	92.0kg
	バ ッ ク 取 扱 機	M12X250 (1760X1680X230) 1N, 2W	230mm	0.18kg	92.0kg
	フ ァ ー マ ー プ レ ー ト	PL-100X127X225	119mm	2.14kg	252.5kg
	フ ァ ー マ ー プ レ ー ト	PL-100X127X250	59mm	8.07kg	476.1kg
	取 扱 機 取 扱 機	2700 330X160X163	50mm	0.10kg	36.0kg

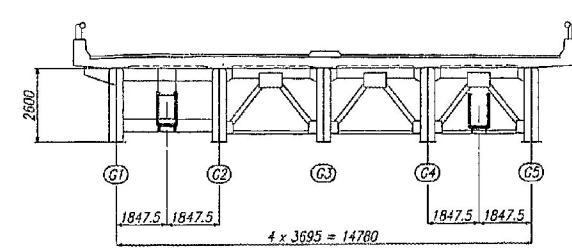
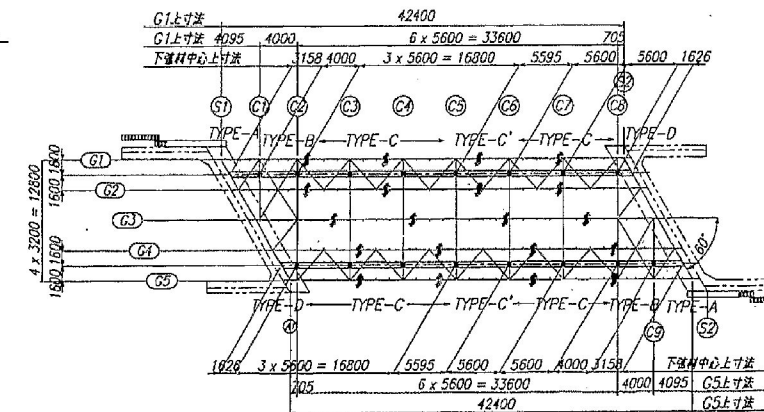
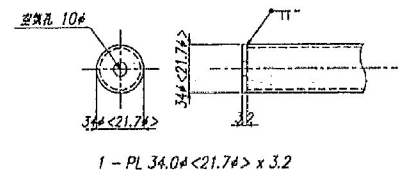
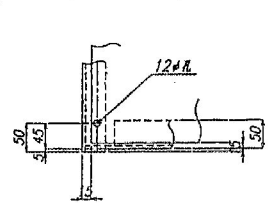
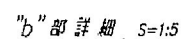
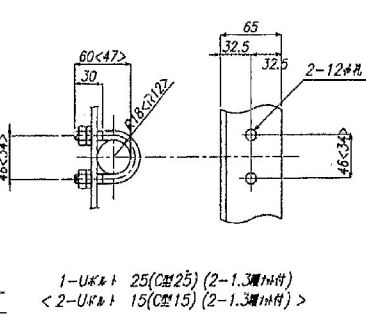
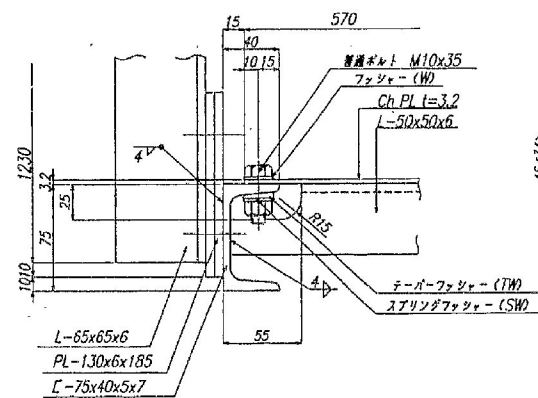
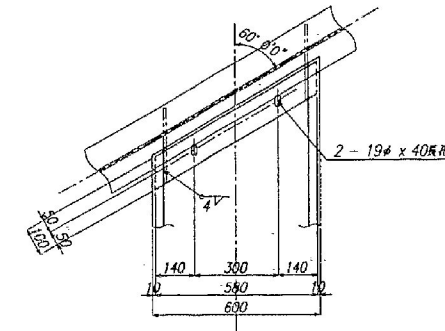
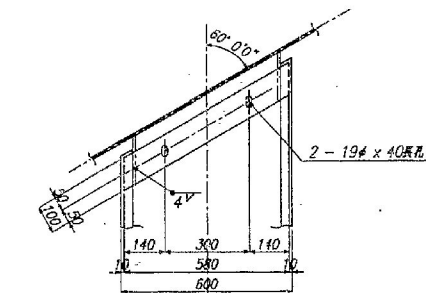
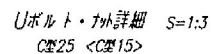
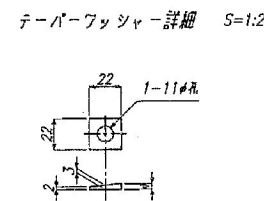
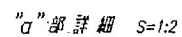
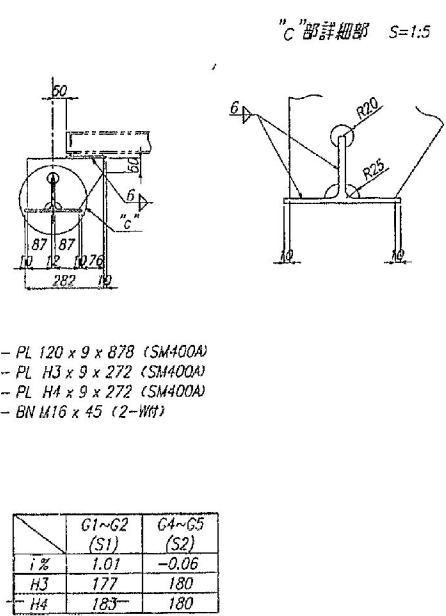
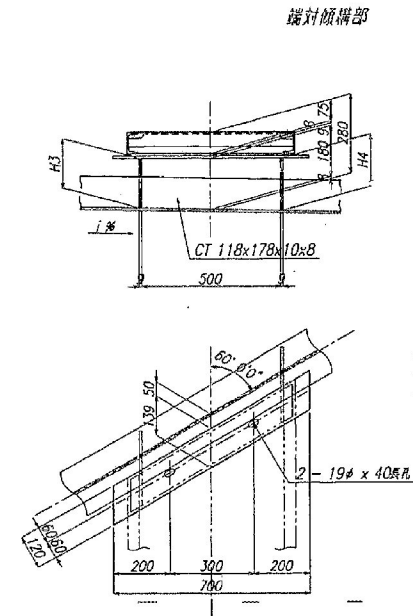
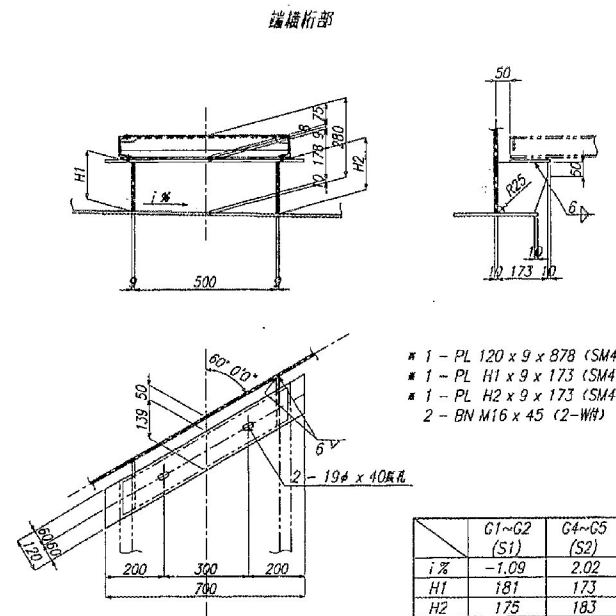
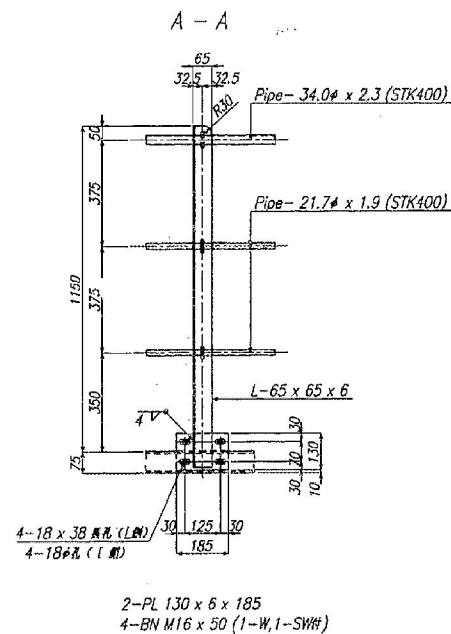
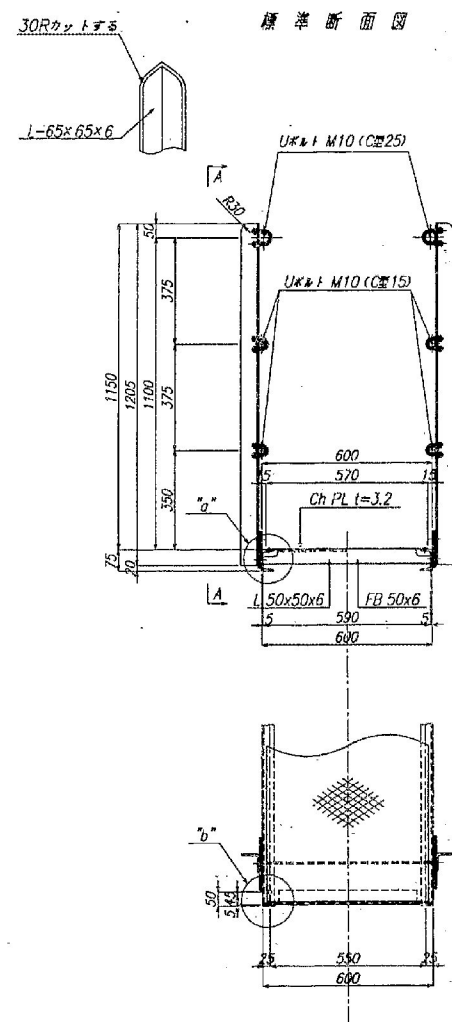
(鹽末部)

品名	規格	単位	数量	単価	金額
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	147.00	294.00
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	117.00	234.00
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	98.00	196.00
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	24.00	48.00
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	18.00	36.00
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	17.00	34.00
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	10.70	21.40
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	13.70	27.40
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	19.20	38.40
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	17.80	35.60
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	13.80	27.60
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	12.60	25.20
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	2.66	5.32
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	1.73	3.46
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	1.65	3.30
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	1.18	2.36
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	0.48	0.96
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	0.60	1.20
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	2.36	4.72
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	2.45	4.90
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	1.61	3.22
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	1.65	3.30
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	7.16	14.32
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	5.76	11.52
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	3.67	7.34
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	3.72	7.44
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	2.66	5.32
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	0.18	0.36
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	0.11	0.22
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	0.58	1.16
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	0.10	0.20
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	0.09	0.18
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	0.39	0.78
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	1.55	3.10
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	2.14	4.28
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	8.07	16.14
アクリル板	1000×2000×6 透明	枚	2	149.30	298.60

注1) 材料費は、土工部及び橋梁部-土工部属の材料を含めず橋梁部のみ計上。

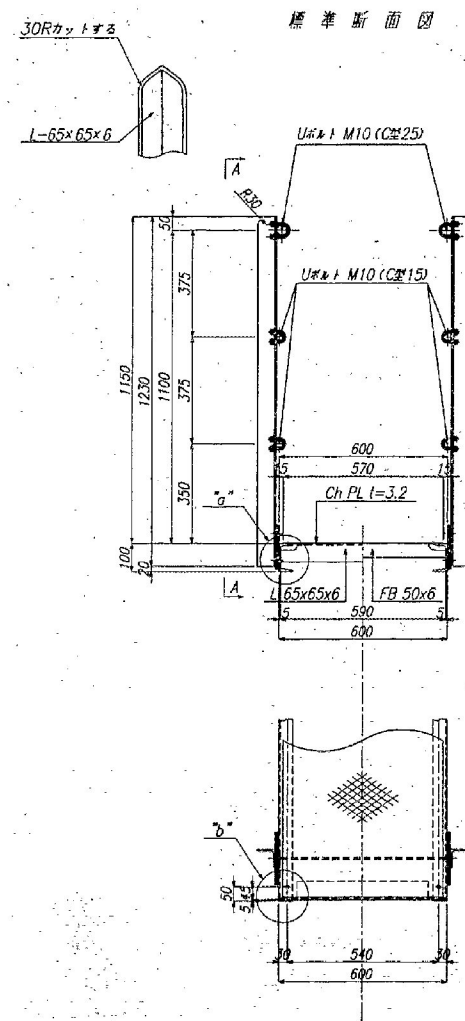
秋田自動車道 満屋橋他1橋はく落対策設計			
図面の種類	天下田橋 落物物防止柵 F 1 (2)		
縮 尺	—	図面番号	/
事務所名	東日本高速道路㈱東北支社 北上管理事務所		



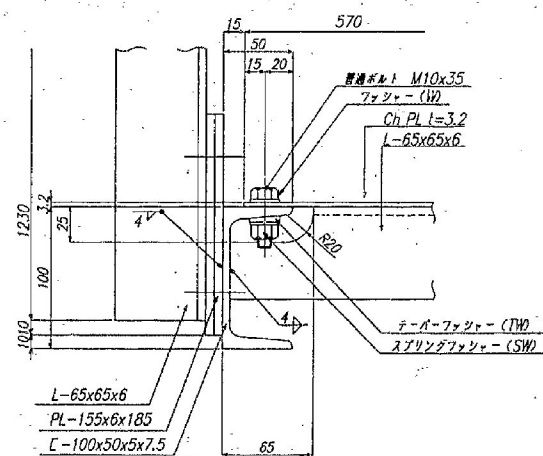


- 注 記
1. 付記の材質は全てSS400とする。
  2. \*以外の表面処理は溶剤亜鉛メッキとする。  
亜鉛の付着量は JISH8641 HDZ55 とする。  
尚、ボルト、ナットの付着量は HDZ35 とする。
  3. \*印材料は横断、片縦断にて計上する。

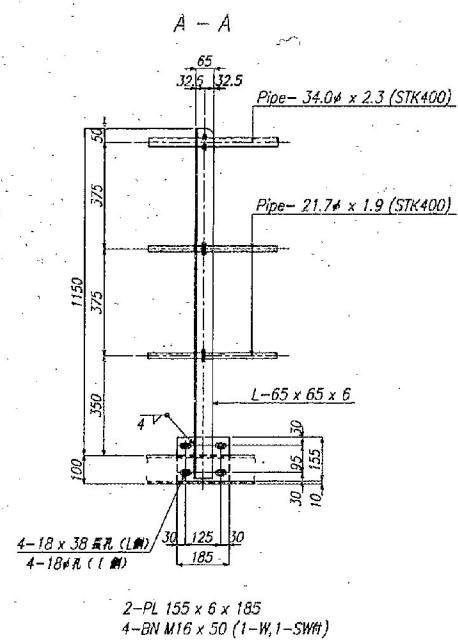
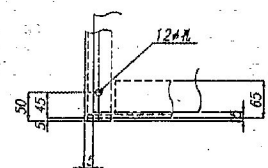
秋田自動車道 満屋橋他1橋は落対策設計			
図面の種類	天下田橋 上部工検査路図(1)		
縮尺	—	図面番号	/
事務所名	東日本高速道路㈱東北支社 北上管理事務所		



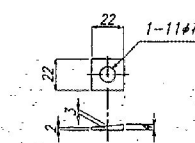
"a"部詳細 S=1:2



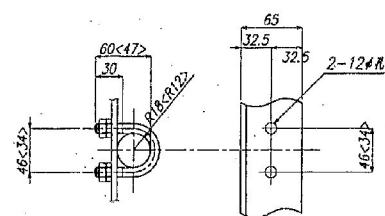
"b"部詳細 S=1:5



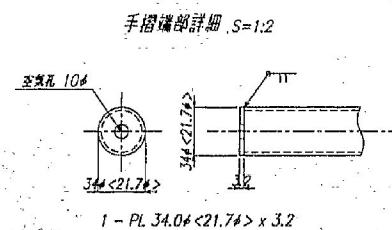
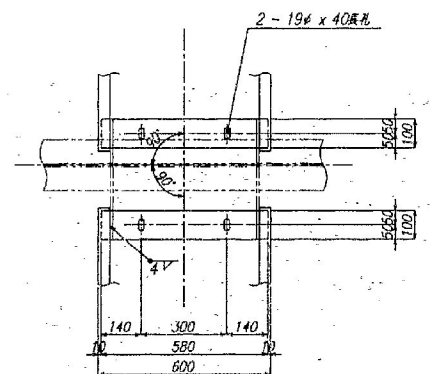
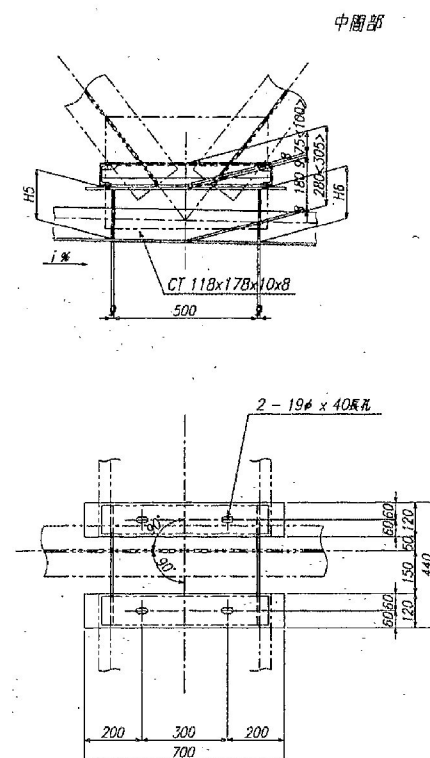
ターボフッシャ-詳細 S=1:2



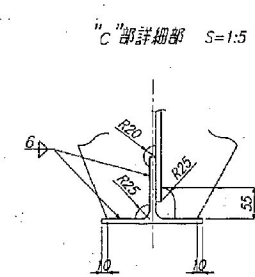
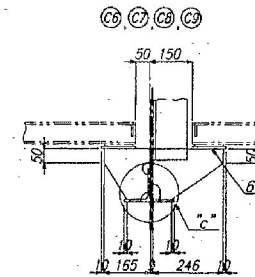
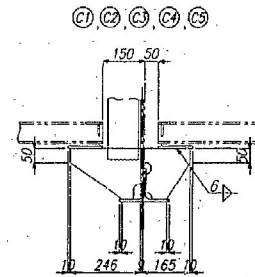
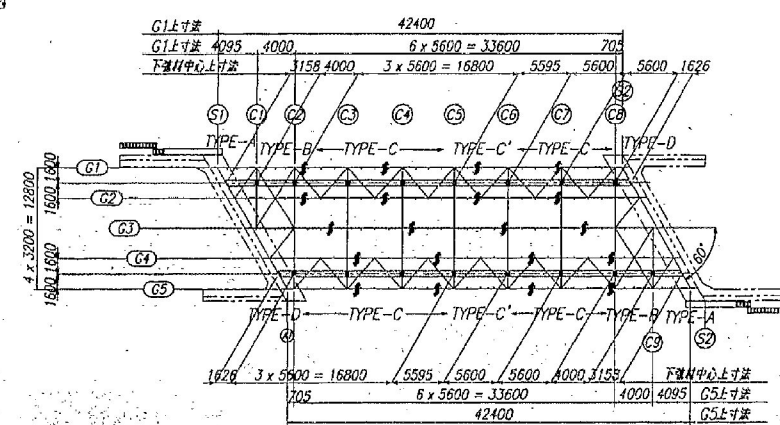
Uボルト・ナット詳細 S=1:3  
C型25・C型15



1-ボルト M10(型25) (2-1.3mm付)  
< 2-ボルト M10(型15) (2-1.3mm付) >


$$- PL\ 34.0\phi < 21.7\phi > \times 3.2$$


配置図:  $S=1:300$

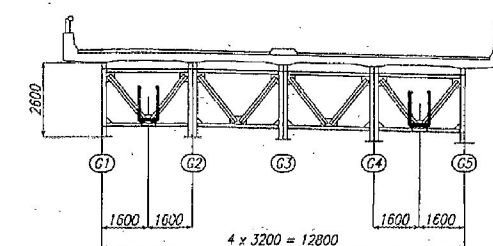


"C"部詳細部 S=1:5

- \* 2 - PL 120 x 9 x 600 (SM400A)
- \* 1 - PL H5 x 9 x 165 (SM400A)
- \* 1 - PL H6 x 9 x 165 (SM400A)
- \* 1 - PL H5 x 9 x 246 (SM400A)
- \* 1 - PL H6 x 9 x 246 (SM400A)
- 4 - BN M16 x 45 (2-WH)

	G1~G2							
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
i%	-0.22	-0.23	-0.24	-0.25	-0.25	-0.24	-0.23	-0.22
H5	181	181	181	181	181	181	181	181
H6	179	179	179	179	179	179	179	179
	G4~G5							
	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
i%	-2.18	-2.17	-2.17	-2.17	-2.16	-2.16	-2.16	-2.16
H5	187	187	187	187	187	187	187	187
H6	173	173	173	173	173	173	173	173

檢查路取付位置圖 S=1:100



- 注 記
1. 何れな材料費は全てSS400とする。
  2. A以外の表面処理は溶融亜鉛メッキとする。  
亜鉛の付着量は JISH8641 HDZ55 とする。  
ボルト、ナットの付着量は HDZ35 とする。
  3. A印材料は価額、封鎖費に計上する。

秋田自動車道 満屋橋他1橋はく落対策設計			
図面の種類	天下田橋 上部工検査路図(2)		
縮尺	—	図面番号	/
事務所名	東日本高速道路㈱東北支社 北上管理事務所		